

平成20年3月期 中間決算説明資料

I. 平成20年3月期 中間決算サマリー	P.3～5
II. 平成20年3月期 田辺製薬中間決算について	P.6～12
III. 平成20年3月期 三菱ウェルファーマ中間決算について	P.13～18
IV. 平成20年3月期 田辺三菱製薬業績見通しについて	P.19～24
V. 平成20年3月期 個別中間財務諸表について	P.25～30
VI. 新製品開発状況について	P.31～41
VII. その他	P.42～43

[注意事項]

- 1) 「平成20年3月期 中間決算短信」並びに本説明資料は、平成19年11月1日午後1時に大阪証券取引所及び東京証券取引所において記者発表し、公開しております。また同時刻に、これらの資料は東京証券取引所の「適時開示情報閲覧サービス」に掲載されています。
- 2) 「平成20年3月期 中間決算短信」並びに本説明資料に記載されている通期の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。
従いまして、実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、ドル、ユーロ等の対円為替相場などが含まれます。

＜目次＞

I. 平成 20 年 3 月期 中間決算サマリー

□ 平成 19 年 9 月中間期 業績サマリー	3
1. 田辺製薬 中間期業績サマリー 2. 三菱ウェルファーマ 中間期業績サマリー	3
□ 平成 20 年 3 月期 業績見通しサマリー	4
1. 田辺三菱製薬 業績見通しサマリー(制度会計)	4
2. 田辺三菱製薬 業績見通しサマリー(単純合算)	4
□ 連結財務指標推移	5
1. 田辺製薬 2. 三菱ウェルファーマ	5

II. 平成 20 年 3 月期 田辺製薬中間決算について

□ 平成 20 年 3 月期 田辺製薬中間決算＜損益状況＞	6
1. 損益実績 2. セグメント別売上高 3. 主要製品売上高	6
4. 売上原価／販売費及び一般管理費	6
5. 営業外損益 6. 特別損益 7. 法人税等	7
□ 平成 20 年 3 月期 田辺製薬中間決算＜財務状況＞	8
1. 資産・負債・純資産の状況	8
2. 主要項目の増減	9
3. キャッシュ・フロー計算書 4. キャッシュ・フロー指標	10
5. 設備投資 6. 情報システム開発投資 7. 減価償却費	11
□ 平成 20 年 3 月期 田辺製薬中間決算＜関係会社＞	12
1. 関係会社数 2. 連結子会社一覧 3. 持分法適用関連会社一覧	12

III. 平成 20 年 3 月期 三菱ウェルファーマ中間決算について

□ 平成 20 年 3 月期 三菱ウェルファーマ中間決算＜損益状況＞	13
1. 損益実績 2. セグメント別売上高 3. 主要製品売上高	13
4. 売上原価／販売費及び一般管理費	13
5. 営業外損益 6. 特別損益 7. 法人税等	14
□ 平成 20 年 3 月期 三菱ウェルファーマ中間決算＜財務状況＞	15
1. 資産・負債・純資産の状況 2. 主要項目の増減	15
3. キャッシュ・フロー計算書 4. キャッシュ・フロー指標	16
5. 設備投資 6. 情報システム開発投資 7. 減価償却費推移	17
□ 平成 20 年 3 月期 三菱ウェルファーマ中間決算＜関係会社＞	18
1. 関係会社数 2. 主要連結会社の財務数値・従業員数	18

IV. 平成 20 年 3 月期 田辺三菱製薬業績見通しについて

□ 平成 20 年 3 月期 業績見通し	19
1. 連結業績見通し(制度会計) 2. 連結業績見通し(単純合算)	19
<参考> 個別業績見通し(制度会計)	19
□ 平成 20 年 3 月期 業績見通し＜連結単純合算＞	20
1. 損益見通し 2. セグメント別売上高見通し 3. 主要製品売上高見通し	20
4. 販売費及び一般管理費／総人件費見通し 5. 設備投資見通し	21
6. 情報システム開発投資見通し 7. 減価償却費見通し	21

8. 当初予想との比較	22
9. 四半期業績推移(損益計算書)	23
10. 四半期業績推移(主要製品売上高)	24
V. 平成 20 年 3 月期 個別中間財務諸表について		
□ 平成 20 年 3 月期 田辺製薬個別中間財務諸表<損益状況>	25
1. 売上高/売上原価/販売費及び一般管理費	25
2. 営業外損益/特別損益/法人税等	26
□ 平成 20 年 3 月期 田辺製薬個別中間財務諸表<財務状況>	27
1. 資産・負債・純資産の状況	27
□ 平成 20 年 3 月期 三菱ウェルファーマ個別中間財務諸表<損益状況>	28
1. 売上高/売上原価/販売費及び一般管理費	28
2. 営業外損益/特別損益/法人税等	29
□ 平成 20 年 3 月期 三菱ウェルファーマ個別中間財務諸表<財務状況>	30
1. 資産・負債・純資産の状況	30
VI. 新製品開発状況について		
□ 新製品開発状況(平成 19 年 11 月 1 日現在)	31
1. 国内開発状況	31
①新規化合物	31
②効能追加	32
2. 海外開発状況	33
①新規化合物 ②効能追加	33
3. 導出品の開発状況	34
4. 平成 19 年 3 月期決算発表時点からの変更点	35
<参考>新製品開発状況補足資料(平成 19 年 11 月 1 日現在)	36
1. 国内 新規化合物	36
2. 国内 効能追加	37
3. 海外 新規化合物 4. 海外 効能追加	38
5. 海外 導出品	39
<参考>主要医療用医薬品の解説	40~41
VII. その他		
□ 株式の状況	42
1. 発行済株式数・自己株式の状況(連結) 2. 配当金推移	42
<参考>9 月 30 日現在の株式の状況	42
①大株主の状況 ②所有者別株式数分布状況 ③外国人持株比率	42
□ その他関連データ	43
1. 従業員数(就業人員数)推移	43
2. 平成 19 年 4 月以降のトピックス ①田辺製薬 ②三菱ウェルファーマ	43
3. 合併関連のトピックス	43

平成19年9月中間期 業績サマリー

1. 田辺製薬 中間期業績サマリー

(億円未満四捨五入)

☆売上高	938億円	対前年同期比	+83億円	+9.7%
○医薬品事業	873億円	対前年同期比	+84億円	+10.7%
○その他事業	64億円	対前年同期比	△1億円	△1.8%

当中間期の売上高は、その他事業は減収となったが、医薬品事業が医療用医薬品および一般用医薬品ともに増収となり、938億円（前中間期比9.7%増）となった。

◎各セグメントの主たる製品及び役務の内容

医薬品事業:医療用医薬品、一般用医薬品

その他事業:化成品、食品添加物、情報サービス、宣伝製作物等

☆営業利益	184億円	対前年同期比	+43億円	+30.9%
-------	-------	--------	-------	--------

☆経常利益	192億円	対前年同期比	+40億円	+26.4%
-------	-------	--------	-------	--------

☆中間純利益	99億円	対前年同期比	+4億円	+4.4%
--------	------	--------	------	-------

営業利益は、原価率の高い品目の売上増加により原価が上昇したものの、販売費及び一般管理費が減少した結果、184億円（前中間期比30.9%増）となった。研究開発費は、125億円（同10.8%減）となり、売上高に対する比率は13.4%となった。経常利益は、受取利息、受取配当金が増加したが、為替差益が減少したことにより、192億円（同26.4%増）となった。

特別損失に合併関連費用、特別退職金など29億円を計上した結果、中間純利益は、99億円（同4.4%増）となった。

2. 三菱ウェルファーマ 中間期業績サマリー

(億円未満四捨五入)

☆売上高	1,139億円	対前年同期比	+17億円	+1.5%
○医薬品事業	1,054億円	対前年同期比	+17億円	+1.6%
○その他事業	86億円	対前年同期比	+1億円	+0.7%

当中間期の売上高は、主力医薬品の堅調により1,139億円、前中間期に比べ17億円（1.5%）の増収となった。なお、当中間期よりセグメント区分を変更している。詳細については、本資料13ページ、セグメント別売上高の注釈を参照。

◎各セグメントの主たる製品及び役務の内容

医薬品事業:医療用医薬品

その他事業:化成品、不動産賃貸業、物流・倉庫業、包装材料仕入販売等

☆営業利益	213億円	対前年同期比	+7億円	+3.5%
-------	-------	--------	------	-------

☆経常利益	210億円	対前年同期比	+7億円	+3.6%
-------	-------	--------	------	-------

☆中間純利益	104億円	対前年同期比	△32億円	△23.5%
--------	-------	--------	-------	--------

増収効果などで販売管理費の増加を吸収した結果、営業利益は213億円、前中間期に比べ7億円（3.5%）の増益を確保した。営業外損益は横ばいとなったが、営業利益の向上により経常利益は210億円、前中間期に比べ7億円（3.6%）の増益となった。特別損益では、合併関連費用16億円や工場閉鎖損失14億円などを特別損失に計上した。

以上の結果、当中間純利益は104億円、前中間期との比較では経常利益は増加したが、特別利益の減少に加え、特別損失が大幅に増加したことなどにより、32億円（23.5%）の減益となった。

平成20年3月期 業績見通しサマリー

通期の業績見通しには、合併シナジー、のれん償却費用とシステム開発などの合併関連費用を織り込んでいる。また、5月9日に公表した当初業績見通しを見直した。

1. 田辺三菱製薬 業績見通しサマリー(制度会計)

(億円未満四捨五入)

◆当初業績見通し(5月9日公表)の見直し

	前期実績	当初見通し	修正見通し
売上高	1,775億円	3,300億円	3,180億円
営業利益	305億円	550億円	520億円
経常利益	323億円	550億円	520億円
当期純利益	202億円	300億円	260億円

☆売上高	3,180億円	対前期比	+1,405億円	+79.1%
☆営業利益	520億円	対前期比	+215億円	+70.7%
☆経常利益	520億円	対前期比	+197億円	+60.8%
☆当期純利益	260億円	対前期比	+58億円	+28.9%

企業結合会計の逆取得に該当するため、通期の業績見通しは、三菱ウェルファーマの中間期業績に田辺三菱製薬の下期業績予想を合算したものである。制度会計上の通期業績見通しは、合併により前期と比較して大幅に増加する見通し。

2. 田辺三菱製薬 業績見通しサマリー(単純合算)

(億円未満四捨五入)

◆当初業績見通し(5月9日公表)の見直し

	前期実績	当初見通し	修正見通し
売上高	4,050億円	4,185億円	4,118億円
営業利益	704億円	690億円	704億円
経常利益	717億円	695億円	712億円
当期純利益	445億円	375億円	359億円

☆売上高	4,118億円	対前期比	+67億円	+1.7%
☆営業利益	704億円	対前期比	+0億円	+0.0%
☆経常利益	712億円	対前期比	△4億円	△0.6%
☆当期純利益	359億円	対前期比	△85億円	△19.2%

連結財務指標推移

1. 田辺製薬

	前中間期	当中間期	増減率	H17年3月期	H18年3月期	H19年3月期
<損益計算書項目>						
売上高（億円）	855	938	9.7%	1,720	1,716	1,775
営業利益（億円）	141	184	30.9%	275	276	305
経常利益（億円）	152	192	26.4%	276	271	323
中間（当期）純利益（億円）	95	99	4.4%	159	155	202
1株当たり中間（当期）純利益（円）	38.86	40.58	4.4%	63.70	62.43	82.36
<貸借対照表項目>						
総資産（億円）	2,908	3,033	4.3%	2,690	2,808	2,971
自己資本（億円）	2,258	2,370	5.0%	2,038	2,181	2,323
自己資本比率（%）	77.6	78.2	—	75.8	77.7	78.2
<キャッシュ・フロー>						
営業キャッシュ・フロー（億円）	112	84	—	198	227	214
投資キャッシュ・フロー（億円）	△ 34	△ 42	—	△ 248	△ 168	△ 85
財務キャッシュ・フロー（億円）	△ 30	△ 30	—	△ 51	△ 85	△ 61
<その他>						
売上高総利益率（%）	62.3	60.4	—	63.0	63.9	61.2
売上高営業利益率（%）	16.5	19.7	—	16.0	16.1	17.2
売上高経常利益率（%）	17.8	20.5	—	16.0	15.8	18.2
売上高純利益率（%）	11.1	10.6	—	9.2	9.0	11.4
1株当たり配当金（円）	12	13	—	17	20	24
配当性向（%）	30.9	32.0	—	26.7	32.0	29.1

2. 三菱ウェルファーマ

	前中間期	当中間期	増減率	H17年3月期	H18年3月期	H19年3月期
<損益計算書項目>						
売上高（億円）	1,122	1,139	1.5%	2,342	2,362	2,275
営業利益（億円）	206	213	3.5%	310	362	399
経常利益（億円）	202	210	3.6%	299	360	393
中間（当期）純利益（億円）	136	104	△ 23.5%	131	206	243
1株当たり中間（当期）純利益（円）	29.69	22.73	△ 23.4%	29.02	45.39	53.02
<貸借対照表項目>						
総資産（億円）	3,107	3,311	6.6%	2,906	3,070	3,233
自己資本（億円）	2,376	2,474	4.1%	2,059	2,315	2,439
自己資本比率（%）	76.5	74.7	—	70.9	75.4	75.4
<キャッシュ・フロー>						
営業キャッシュ・フロー（億円）	136	96	—	274	370	280
投資キャッシュ・フロー（億円）	57	△ 56	—	△ 69	△ 98	43
財務キャッシュ・フロー（億円）	△ 77	△ 28	—	△ 105	△ 78	△ 112
<その他>						
売上高総利益率（%）	65.1	66.1	—	65.1	65.5	64.8
売上高営業利益率（%）	18.3	18.7	—	13.3	15.3	17.6
売上高経常利益率（%）	18.0	18.4	—	12.8	15.2	17.3
売上高純利益率（%）	12.1	9.1	—	5.6	8.8	10.7

平成20年3月期 田辺製薬中間決算<損益状況>

1. 損益実績

(単位：百万円)

	前中間期	当中間期	増減額	増減率%	前中間期	当中間期
					連単倍率	連単倍率
売上高	85,473	93,791	8,318	9.7	1.04	1.04
営業利益	14,094	18,444	4,349	30.9	1.02	1.09
経常利益	15,213	19,232	4,019	26.4	1.03	1.07
中間純利益	9,519	9,939	420	4.4	1.00	1.07
1株当たり中間純利益	38.86円	40.58円	1.72円	4.4	—	—

2. セグメント別売上高

(単位：百万円)

	前中間期	当中間期	増減額	増減率%	主なポイント
医薬品事業 (構成比%)	78,910 (92.3)	87,346 (93.1)	8,436	10.7	3. 主要製品売上高参照
医療用医薬品	76,061	84,265	8,203	10.8	
一般用医薬品	2,849	3,081	232	8.2	
その他事業 (構成比%)	6,562 (7.7)	6,444 (6.9)	△118	△1.8	田辺製薬商事減収
売上高合計 (構成比%)	85,473 (100.0)	93,791 (100.0)	8,318	9.7	
(内、海外売上高)	(8,455)	(9,588)	(1,133)	(13.4)	海外売上高比率10.2% (前同9.9%)

3. 主要製品売上高

(単位：億円) (億円未満四捨五入)

	前中間期	当中間期	増減額	増減率%
レミケード	93	135	42	45.4
ヘルベッサ (内、海外)	93 (25)	91 (24)	△2 (△1)	△1.7 (△3.1)
セレジスト	73	79	6	8.3
タナトリル (内、海外)	74 (10)	75 (11)	1 (1)	1.1 (10.7)
サアミオン	52	51	△2	△3.1
メインテート	50	52	3	5.2
タリオン	26	33	7	28.4
ガストローム	31	30	△0	△1.4
フルカリック	27	27	0	0.1
ローコール	26	24	△2	△7.4
セレキノ	17	17	△0	△2.8
アドナ	13	13	△0	△1.5
プロスコープ	11	7	△4	△37.4
ワクチン国内	50	69	19	37.9
(内、インフルエンザ)	(10)	(9)	(△1)	(△13.9)
(内、ミールビック)	(29)	(44)	(16)	(55.0)
ワクチン海外	7	11	4	50.0
技術導出契約金等	3	4	1	14.7

4. 売上原価／販売費及び一般管理費

(単位：百万円)

	前中間期	当中間期	増減額	増減率%	主なポイント
売上原価 売上原価率	32,214 37.7%	37,148 39.6%	4,934	15.3	原価率の高いレミケード、ミールビックの売上高増加などによる売上原価率上昇
販売費 販管費比率	39,164 45.8%	38,198 40.7%	△966	△2.5	
研究開発費 研究開発費比率	14,040 16.4%	12,528 13.4%	△1,512	△10.8	導入契約一時金の支払い減少等
人件費	11,247	11,383	135	1.2	製品説明会費用の増加等
販売諸費	2,731	3,475	743	27.2	
その他	11,144	10,810	△333	△3.0	
総人件費	19,224	19,627	402	2.1	

平成20年3月期 田辺製薬中間決算＜損益状況＞

5. 営業外損益

(単位：百万円)

	前中間期	当中間期	増減額	主なポイント
営業外収益	1,519	1,294	△ 225	
受取利息	286	615	329	債券等の利息増加
受取配当金	346	425	78	
賃貸料	17	17	0	
為替差益	604	—	△ 604	
持分法による投資利益	18	0	△ 18	
その他	246	234	△ 12	
営業外費用	401	506	105	
支払利息	3	10	7	
寄付金	104	105	0	
為替差損	—	98	98	
固定資産除却損	188	126	△ 62	
たな卸資産廃棄損	67	82	15	
その他	38	83	45	

6. 特別損益

(単位：百万円)

	前中間期	当中間期	増減額	主なポイント
特別利益	72	23	△ 48	
貸倒引当金戻入額	42	—	△ 42	
投資有価証券売却益	24	5	△ 18	
固定資産売却益	6	9	3	
その他	—	8	8	
特別損失	20	2,940	2,919	
合併関連費用	—	2,047	2,047	システム開発費用、営業拠点統合費用等
特別退職金	—	712	712	
固定資産処分損	—	149	149	
投資有価証券評価損	17	27	9	
投資有価証券売却損	3	3	0	

7. 法人税等

(単位：百万円)

	前中間期	当中間期	増減額	主なポイント
税金等調整前中間純利益	15,265	16,315	1,050	
法人税、住民税及び事業税	6,321	4,961	△ 1,359	税効果会計適用後の法人税等の負担率が増加した主な要因は、試験研究費の特別控除が減少したため（負担率：当中間期 38.4%、前中間期 37.2%）
法人税等調整額	△ 643	1,309	1,952	
少数株主利益	△ 68	△ 105	△ 36	
中間純利益	9,519	9,939	420	

平成20年3月期 田辺製薬中間決算<財務状況>

1. 資産・負債・純資産の状況

(単位：百万円)

	前中間期末	当中間期末 (構成比%)	増減額	前期末	増減額 (対前期末)	主なポイント (上段：前中間期末比較、下段：前期末比較)
総 資 産	290,841	303,278 (100.0)	12,437	297,087	6,191	
流 動 資 産	135,278	148,772 (49.1)	13,493	145,049	3,723	現金及び預金 △67億円、有価証券 +132億円、売上債権(注1) +54億 円、たな卸資産 +14億円、その他 の流動資産 +3億円 現金及び預金 △90億円、有価証券 +76億円、売上債権(注1) +25億 円、たな卸資産 +30億円、その他 の流動資産 △4億円
固 定 資 産	155,562	154,505 (50.9)	△1,056	152,037	2,467	有形固定資産 +21億円、無形固定 資産 △14億円、投資有価証券 △8 億円、前払年金費用 +3億円、その 他の投資等 △12億円 有形固定資産 +20億円、無形固定 資産 △6億円、投資有価証券 +22 億円、前払年金費用 △1億円、その 他の投資等 △10億円
負 債	63,748	64,774 (21.4)	1,026	63,491	1,283	
流 動 負 債	36,567	41,208 (13.6)	4,640	37,973	3,234	仕入債務(注2) △51億円、未払金 +109億円、未払法人税等 △13億 円、その他の流動負債 +3億円 仕入債務(注2) +6億円、未払金 + 72億円、未払法人税等 △46億円
固 定 負 債	27,180	23,566 (7.8)	△3,613	25,518	△1,951	繰延税金負債 △23億円、退職給付 引当金 △7億円、スモン訴訟健康管 理手当等引当金 △7億円 繰延税金負債 △9億円、退職給付引 当金 △7億円、スモン訴訟健康管 理手当等引当金 △3億円
純 資 産	227,093	238,503 (78.6)	11,410	233,595	4,908	
株 主 資 本	206,039	220,701 (72.7)	14,661	213,741	6,959	利益剰余金 +147億円 利益剰余金 +70億円
評価・換算差額等	19,790	16,337 (5.4)	△3,452	18,525	△2,188	その他有価証券評価差額金 △40億 円 その他有価証券評価差額金 △22億 円
少数株主持分	1,263	1,464 (0.5)	201	1,327	136	

(注1) 売上債権=受取手形+売掛金

(注2) 仕入債務=支払手形(除く営業外支払手形)+買掛金

平成20年3月期 田辺製薬中間決算<財務状況>

2. 主要項目の増減

(単位：百万円)

	前中間期末	当中間期末	増減額	前期末	増減額 (対前期末)	主なポイント (上段：前中間期末比較、下段：前期末比較)
現金及び預金	35,982	29,245	△ 6,737	38,197	△ 8,952	P10 「3. キャッシュ・フロー計算書」参照
有価証券	13,825	26,977	13,151	19,372	7,605	取得 +663億円、償還 △572億円、投資有価証券より振替 +40億円 取得 +417億円、償還 △366億円、投資有価証券より振替 +25億円
売上債権(注1) (売上債権回転月数)	57,206 (4.02ヵ月)	62,615 (4.01ヵ月)	5,408 (△0.01ヵ月)	60,127 (4.06ヵ月)	2,488 (△0.05ヵ月)	レミケード等の売上債権が増加 ワクチン等の売上債権が増加
たな卸資産	22,352	23,755	1,402	20,790	2,965	メインテート等の商品在庫が増加 レミケード、ワクチン等の商品在庫が増加
その他の流動資産	5,911	6,179	268	6,562	△ 382	
有形固定資産	45,322	47,428	2,106	45,434	1,994	減価償却費 45億円、設備投資 67億円、除却 △3億円 減価償却費 20億円、設備投資 40億円、除却 △3億円
無形固定資産	3,028	1,635	△ 1,393	2,210	△ 574	減価償却費 15億円、情報システム開発投資 3億円 減価償却費 6億円、情報システム開発投資 2億円
投資有価証券	79,956	79,108	△ 847	76,923	2,185	取得 +130億円、売却 △46億円、有価証券へ振替 △40億円、時価評価 △55億円 取得 +85億円、有価証券へ振替 △25億円、時価評価 △36億円
前払年金費用	20,295	20,561	266	20,655	△ 93	
その他の投資等	6,959	5,770	△ 1,188	6,814	△ 1,043	長期貸付金 △9億円 長期貸付金 △8億円
仕入債務(注2)	19,673	14,598	△ 5,075	13,970	627	レミケード仕入債務の減少等 ワクチン仕入債務の増加等
未払金	3,992	14,870	10,877	7,668	7,201	設備未払金、有価証券未払金の増加等
未払法人税等	6,418	5,117	△ 1,300	9,674	△ 4,556	
その他の流動負債	6,311	6,591	280	6,617	△ 25	
有利子負債	277	104	△ 172	132	△ 28	
内、短期借入金(注3)	141	—	△ 141	11	△ 11	
長期借入金(注4)	135	104	△ 30	120	△ 16	
繰延税金負債	9,648	7,370	△ 2,278	8,313	△ 943	
退職給付引当金	11,743	11,069	△ 674	11,744	△ 674	
スモン訴訟 健康管理手当等引当金	5,226	4,554	△ 672	4,891	△ 336	健康管理手当等の支払いによる取り崩し
その他の固定負債	455	497	41	477	19	
資本金	44,261	44,261	—	44,261	—	
資本剰余金	48,136	48,139	2	48,137	1	
利益剰余金	135,879	150,612	14,733	143,612	7,000	純利益 206億円、配当金支払 59億円 中間純利益 99億円、配当金支払 29億円
自己株式	△ 22,238	△ 22,311	△ 73	△ 22,270	△ 41	
その他有価証券評価差額金	20,613	16,580	△ 4,032	18,811	△ 2,230	時価の下落による減少

(注1) 売上債権=受取手形+売掛金 (注2) 仕入債務=支払手形(除く営業外支払手形)+買掛金
(注3, 4) 借入金…1年以内返済予定長期借入金は長期借入金に含めた。

平成20年3月期 田辺製薬中間決算<財務状況>

3. キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間期	当中間期	増減額	前期	主なポイント
現金・現金同等物期首残高	39,249	46,121	6,872	39,249	
営業キャッシュ・フロー	11,206	8,351	△ 2,854	21,419	中間純利益および未払金が増加したものの、売上債権の増加と仕入債務の減少および法人税の支払の増加などにより、29億円減少
投資キャッシュ・フロー	△ 3,448	△ 4,152	△ 703	△ 8,525	有価証券の取得・売却 +15億円 (前中間 +35億円、当中間 +50億円) 有形固定資産の取得・売却 +6億円 (前中間 △27億円、当中間 △21億円) 無形固定資産の取得 +7億円 (前中間 △8億円、当中間 △0億円) 投資有価証券の取得・売却 △45億円 (前中間 △35億円、当中間 △79億円)
財務キャッシュ・フロー	△ 2,967	△ 3,027	△ 60	△ 6,059	短期借入金の増減 +4億円 (前中間 △4億円、当中間 △0億円) 配当金の支払 △5億円 (前中間 △25億円、当中間 △29億円)
現金・現金同等物に係る換算差額	82	△ 37	△ 120	89	
現金・現金同等物の増減額	4,872	1,133	△ 3,738	6,924	
連結子会社の決算期変更に伴う現金・現金同等物の減少額	—	—	—	△ 51	
現金・現金同等物期末残高	44,122	47,255	3,133	46,121	

* 現金及び現金同等物期末残高と連結貸借対照表上の現金及び預金との関係(単位:百万円)

	前中間期	当中間期	前期
現金及び預金	35,982	29,245	38,197
預入期間が3カ月を超える定期預金	△ 553	△ 645	△ 664
取得日から3カ月以内に償還期限が到来する有価証券	8,693	18,656	8,589
現金及び現金同等物	44,122	47,255	46,121

4. キャッシュ・フロー指標

	前期	当中間期	各指標の算出式
自己資本比率 (%)	78.2	78.2	自己資本 (232,267百万円) / 総資産 (297,087百万円)
時価ベースの自己資本比率 (%)	132.2	117.1	株式時価総額* (392,624百万円) / 総資産 (297,087百万円) * 株式時価総額 = 期末株価終値 (1,603円) × 期末発行済株式数 (244,931千株)
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	0.0	0.0	有利子負債 (132百万円) / 営業キャッシュ・フロー (21,419百万円) 有利子負債 (104百万円) / {営業キャッシュ・フロー (8,351百万円) × 2} * * 年間ベースに換算するため営業キャッシュ・フローを2倍して計算
インタレスト・カバレッジ・レシオ	2,364.0	1,011.0	営業キャッシュ・フロー (21,419百万円) / 利払い額 (9百万円) 営業キャッシュ・フロー (8,351百万円) / 利払い額 (8百万円)

平成20年3月期 田辺製薬中間決算<財務状況>

5. 設備投資

(単位：百万円)

	前中間期	当中間期	増減額	前期
設備投資額／発生ベース	1,858	4,019	2,160	4,368
(個別)	(1,003)	(1,452)	(449)	(1,645)

<当中間期の主な取得設備>

・本支店関係設備	9億円
・研究関係設備	3億円
・生産関係設備	2億円
・関係会社設備	25億円
(山口田辺製薬新合成棟建設)	(14億円)
(山口田辺製薬その他製造設備等)	(9億円)

6. 情報システム開発投資(無形固定資産)

(単位：百万円)

	前中間期	当中間期	増減額	前期
システム投資額／発生ベース	325	154	△ 171	463
(個別)	(317)	(153)	(△ 164)	(452)

7. 減価償却費

(単位：百万円)

	前中間期	当中間期	増減額	前期
有形固定資産	2,348	1,955	△ 393	4,845
(個別)	(1,499)	(1,371)	(△ 127)	(3,091)
無形固定資産	992	575	△ 417	1,929
(個別)	(978)	(562)	(△ 415)	(1,901)

平成20年3月期 田辺製薬中間決算<関係会社>

1. 関係会社数

	前期末	当中間期末	増減数	特記事項
連結子会社数	17	15	△ 2	除外) エースアート(株) 田辺製薬エンジニアリング(株)
関連会社数	6	5	△ 1	除外) タナベ エーエーアイ エルエルシー
(持分法適用)	(6)	(5)	(△ 1)	
合計	23	20	△ 3	

・田辺総合サービス株式会社は、平成19年4月1日にエースアート株式会社及び田辺製薬エンジニアリング株式会社を吸収合併した。

・タナベ エーエーアイ エルエルシーは、平成19年6月に清算したため、当中間期末に持分法適用関連会社より除外した。

2. 連結子会社一覧

(平成19年9月30日現在)

	会社名	資本金	議決権所有割合(内、間接所有分)		決算期
1	(株)田辺オールアンドディー・サービス	44百万円	100.0	(—)	3月末
2	田辺製薬商事(株)	70百万円	100.0	(—)	3月末
3	田辺総合サービス(株)	90百万円	100.0	(—)	3月末
4	田辺製薬吉城工場(株)	400百万円	100.0	(—)	3月末
5	山口田辺製薬(株)	100百万円	100.0	(—)	3月末
6	タナベ インドネシア社	US\$2,500,000	99.6	(—)	12月末
7	タナベ ヨーロッパ社	EUR 260,330	100.0	(—)	12月末
8	タナベ リサーチ ラボラトリーズ U.S.A. 社	US\$3,000,000	100.0	(100.0)	12月末
9	タナベセイヤク マレーシア社	M\$500,000	100.0	(—)	12月末
10	タナベ U.S.A.社	US\$1,400,000	100.0	(100.0)	12月末
11	台湾田辺製薬股份有限公司	NT\$90,000,000	65.0	(—)	12月末
12	台田薬品股份有限公司	NT\$20,000,000	65.0	(—)	12月末
13	天津田辺製薬有限公司	US\$12,000,000	66.7	(—)	12月末
14	タナベ ホールディング アメリカ社 タナベ ファーマ デベロップメント アメリカ エルエルシー	US\$165 —	100.0 —	(—) (—)	12月末 12月末

3. 持分法適用関連会社一覧

(平成19年9月30日現在)

	会社名	資本金	議決権所有割合(内、間接所有分)		決算期
1	小倉美術印刷(株)	145百万円	30.8	(—)	12月末
2	興栄商事(株)	10百万円	50.0	(—)	7月末
3	タマ化学工業(株)	126百万円	24.4	(—)	3月末
4	サンケミカル(株)	342百万円	48.3	(—)	3月末
5	サンテラボ・タナベ シミイ社	EUR 1,600,000	50.0	(—)	12月末

平成20年3月期 三菱ウェルファーマ中間決算<損益状況>

1. 損益実績

(単位：百万円)

	前中間期	当中間期	増減額	増減率%	前中間期 連単倍率	当中間期 連単倍率
売上高	112,207	113,941	1,734	1.5	1.22	1.21
営業利益	20,576	21,291	715	3.5	1.25	1.22
経常利益	20,245	20,976	731	3.6	1.12	1.07
中間純利益	13,612	10,418	△3,194	△23.5	1.07	0.91
1株当たり中間純利益	29.69円	22.73円	△6.96円	△23.4	—	—

2. セグメント別売上高

(単位：百万円、但し品目別売上高は億円単位)

	前中間期	当中間期	増減額	増減率%	主なポイント
医薬品事業 (構成比%)	103,680 (92.4)	105,357 (92.5)	1,677	1.6	アンプラーグやラジカットなど主力医薬品が堅調に推移
その他事業 (構成比%)	8,527 (7.6)	8,584 (7.5)	57	0.7	
売上高合計 (構成比%)	112,207 (100.0)	113,941 (100.0)	1,734	1.5	
(内、海外売上高)	(7,656)	(9,311)	(1,655)	(21.6)	海外売上高比率8.2% (前同6.8%)

※当中間連結会計期間より、従来の「医薬品事業」「化成品事業」「その他事業」の3区分から「医薬品事業」「その他事業」の2区分に変更し、化成品を「その他事業」に含めると同時に、医薬原体を「化成品事業」から「医薬品事業」に含めております。
なお、上記の前中間期の数値につきましても、同様に事業区分を変更したベースで表示しております。

3. 主要製品売上高

(単位：億円) (億円未満四捨五入)

	前中間期	当中間期	増減額	増減率%
ラジカット	141	146	5	3.5
アンプラーグ	82	93	11	13.2
ウルソ	80	84	5	5.7
ヴェノグロブリン-IH	65	69	4	5.8
デパス	57	58	2	3.2
リブル	50	53	3	6.2
オメプラゾン	29	32	3	11.1
テオドール	39	30	△9	△22.4
ノイアート	29	29	0	△0.5
ドラー	23	23	0	△0.1
ノバスタ	18	22	4	23.3
アルブミン	16	19	3	20.1
コレバイン	18	19	1	3.2
ケルロング	19	17	△1	△7.7
ヘパリンNaロック	17	14	△3	△18.2
その他の工業所有権等収入	5	10	5	99.4

4. 売上原価/販売費及び一般管理費

(単位：百万円)

	前中間期	当中間期	増減額	増減率%	主なポイント
売上原価 売上原価率	39,179 34.9%	38,607 33.9%	△572	△1.5	
販売管費 販管費比率	52,452 46.8%	54,043 47.4%	1,591	3.0	
研究開発費 研究開発費比率	22,186 19.8%	24,111 21.2%	1,925	8.7	海外臨床試験開始に伴う増加など
人件費	16,449	15,809	△640	△3.9	退職給付費用の減少など
販売諸費	3,185	3,646	461	14.5	
その他	10,632	10,477	△155	△1.5	
総人件費	28,982	28,719	△263	△0.9	

平成20年3月期 三菱ウェルファーマ中間決算<損益状況>

5. 営業外損益

(単位：百万円)

	前中間期	当中間期	増減額
営業外収益	701	734	33
受取利息	151	392	241
受取配当金	165	83	△ 82
為替差益	39	—	△ 39
不動産賃貸料	90	86	△ 4
その他	256	173	△ 83
営業外費用	1,032	1,049	17
支払利息	66	54	△ 12
たな卸資産廃棄損	183	88	△ 95
固定資産除却損	—	153	153
為替差損	—	6	6
持分法による投資損失	44	—	△ 44
寄付金	276	230	△ 46
子会社整理費用	—	123	123
その他	463	395	△ 68

6. 特別損益

(単位：百万円)

	前中間期	当中間期	増減額	主なポイント
特別利益	2,653	151	△ 2,502	
固定資産売却益	1,252	39	△ 1,213	前期) ベネシス淀川工場売却
投資有価証券売却益	—	70	70	
親会社株式売却益	1,401	—	△ 1,401	前期) 三菱ケミカルホールディングス株式売却
その他	—	42	42	
特別損失	364	3,919	3,555	
特別退職金	171	895	724	
合併関連費用	—	1,626	1,626	
固定資産除却損	185	—	△ 185	当期) 営業外費用で計上
固定資産売却損	8	1	△ 7	
工場閉鎖損失	—	1,354	1,354	当期) エーピーアイコーポレーション久寿工場(2009年3月閉鎖予定)
HCV訴訟損失引当金繰入額	—	43	43	

7. 法人税等

(単位：百万円)

	前中間期	当中間期	増減額	主なポイント
税金等調整前中間純利益	22,534	17,208	△ 5,326	
法人税、住民税及び事業税	5,796	5,588	△ 208	税効果会計適用後の法人税等の負担率が増加した主な要因は、受取配当金等永久に益金に参入されない項目が減少したため(負担率：当中間期 42.4%、前中間期 40.7%)
法人税等調整額	3,380	1,700	△ 1,680	
少数株主損失	254	498	244	
中間純利益	13,612	10,418	△ 3,194	

平成20年3月期 三菱ウェルファーマ中間決算<財務状況>

1. 資産・負債・純資産の状況 (単位：百万円)

	前期末	当中間期末	構成比 %	増減額	主なポイント
総 資 産	323,364	331,119	100.0	7,755	
流 動 資 産	220,494	223,574	67.5	3,080	現金及び預金 +261億円、売上債権(注1) △30億円 たな卸資産 +32億円、短期貸付金 △232億円
固 定 資 産	102,870	107,545	32.5	4,675	有形固定資産 △28億円、無形固定資産 +9億円 投資有価証券 △26億円、前払年金費用 +48億円 その他の投資等 +43億円
負 債	70,122	70,631	21.3	509	
流 動 負 債	59,989	59,100	17.8	△ 889	仕入債務(注2) △18億円、未払法人税等 +35億円 未払金 △38億円、その他の流動負債 +9億円
固 定 負 債	10,133	11,531	3.5	1,398	繰延税金負債 +23億円、退職給付引当金 +1億円 その他の固定負債 △4億円
純 資 産	253,242	260,488	78.7	7,246	
株 主 資 本	239,393	243,291	73.5	3,898	利益剰余金 +39億円
評価・換算差額等	4,472	4,061	1.2	△ 411	その他有価証券評価差額金 △10億円
少 数 株 主 持 分	9,377	13,136	4.0	3,759	

2. 主要項目の増減 (単位：百万円)

	前期末	当中間期末	増減額	主なポイント
現金及び預金	13,905	40,032	26,127	P.16「キャッシュ・フロー計算書」参照
売上債権(注1) (売上債権回転月数)	74,486 (3.93ヵ月)	71,468 (3.76ヵ月)	△3,018 (△0.17ヵ月)	
たな卸資産	43,827	47,035	3,208	
短期貸付金	72,653	49,425	△ 23,228	三菱ケミカルホールディングスグループ金融会社 エムシーエフエーへの貸付金減少 △239億円
繰延税金資産	13,243	13,563	320	
その他の流動資産	2,380	2,051	△ 329	
有形固定資産	71,251	68,477	△ 2,774	減価償却 △42億円、設備投資 22億円、減損 △8億円
無形固定資産	2,192	3,104	912	減価償却 △5億円、システム開発投資 11億円
投資有価証券	16,508	13,904	△ 2,604	持分法適用会社から連結子会社への移行に伴う減少 △13億円 株式評価含み益減少
前払年金費用	10,215	15,008	4,793	退職給付費用のマイナス繰入、掛金拠出による増加
その他の投資等	2,704	7,052	4,348	MP Healthcare Venture Managementの長期性預金預入 +30億円
仕入債務(注2)	19,536	17,700	△ 1,836	
未払法人税等	2,720	6,252	3,532	合併に伴う三菱ケミカルホールディングス連結納税グループ からの離脱による未払金から未払法人税等への勘定科目振替
未 払 金	14,466	10,692	△ 3,774	
HIV訴訟和解損失引当金	1,343	1,343	—	
その他の流動負債	14,759	15,636	877	
有利子負債	8,485	8,141	△ 344	
内、短期借入金(注3)	7,165	7,477	312	連結子会社の借入金増加
長期借入金(注4)	1,320	664	△ 656	連結子会社の返済による減少
繰延税金負債	1,345	3,673	2,328	主に退職給付における掛金の拠出
退職給付引当金	4,608	4,718	110	
HCV訴訟損失引当金	2,092	2,135	43	
その他の固定負債	768	341	△ 427	
資 本 金	30,560	5,738	△ 24,822	減資による資本剰余金への振替
資 本 剰 余 金	70,974	95,796	24,822	減資による資本金からの振替
利 益 剰 余 金	137,859	141,757	3,898	中間純利益 104億円、配当金支払 △65億円
その他有価証券評価差額金	5,210	4,201	△ 1,009	

(注1) 売上債権=受取手形+売掛金 (注2) 仕入債務=支払手形(除く営業外支払手形)+買掛金
(注3, 4) 借入金…1年以内返済予定長期借入金は短期借入金に含めた。

平成20年3月期 三菱ウェルファーマ中間決算<財務状況>

3. キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間期	当中間期	増減額	前期	主なポイント
現金・現金同等物期首残高	63,812	85,182	21,370	63,812	
営業キャッシュ・フロー	13,609	9,638	△ 3,971	28,072	
投資キャッシュ・フロー	5,730	△ 5,606	△ 11,336	4,357	長期性預金の預入 △29億円 (前期 一、当期 △29億円) 有形固定資産の取得・売却 △10億円 (前期 △10億円、当期 △21億円) 投資有価証券の取得・売却 △2億円 (前期 △0億円、当期 △3億円) 親会社株式の売却 △70億円 (前期 +70億円、当期 一)
財務キャッシュ・フロー	△ 7,711	△ 2,750	4,961	△ 11,239	少数株主の株式払込 +42億円 (前期 一、当期 +42億円) 配当金の支払額 +6億円 (前期 △71億円、当期 △65億円)
現金・現金同等物に係る換算差額	75	378	303	180	
現金・現金同等物の増減額	11,703	1,660	△ 10,043	21,370	
連結子会社の増加による 現金・現金同等物の受入	—	1,277	1,277	—	
現金・現金同等物期末残高	75,515	88,119	12,604	85,182	

* 現金及び現金同等物期末残高と連結貸借対照表上の現金及び預金との関係(単位: 百万円)

	前中間期	当中間期	前期
現金及び預金	12,981	40,032	13,905
短期貸付金	63,787	49,425	72,653
預入期間が3ヵ月を超える 定期預金	△ 1,153	△ 1,250	△ 1,281
現金及び現金同等物以外の 短期貸付金	△ 100	△ 88	△ 95
現金及び現金同等物	75,515	88,119	85,182

4. キャッシュ・フロー指標

	前期	当中間期	各指標の算出式
自己資本比率 (%)	75.4	74.7	自己資本 (243,865百万円) / 総資産 (323,364百万円) 自己資本 (247,352百万円) / 総資産 (331,119百万円)
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	0.3	0.4	有利子負債 (8,485百万円) / 営業キャッシュ・フロー (28,072百万円) 有利子負債 (8,141百万円) / {営業キャッシュ・フロー (9,638百万円) × 2} * *年間ベースに換算するため営業キャッシュ・フローを2倍して計算
インタレスト・カバレッジ・レシオ	217.6	172.1	営業キャッシュ・フロー (28,072百万円) / 利払い額 (129百万円) 営業キャッシュ・フロー (9,638百万円) / 利払い額 (56百万円)

平成20年3月期 三菱ウェルファーマ中間決算＜財務状況＞

5. 設備投資

(単位：百万円)

	前中間期	当中間期	増減額	前期
設備投資額／発生ベース	2,654	2,225	△ 429	5,173
(個別)	(962)	(920)	(△ 42)	(1,602)

＜当中間期の主な取得設備＞

・本支店関係設備	2億円
・研究開発関係設備	7億円
・関係会社設備 (MPテクノファーマ製造設備)	13億円 (3億円)

6. 情報システム開発投資（無形固定資産）

(単位：百万円)

	前中間期	当中間期	増減額	前期
システム投資額／発生ベース	57	1,089	1,032	146
(個別)	(42)	(1,021)	(979)	(100)

＜当中間期の主なシステム投資＞

・合併関連システム	9億円
・その他	1億円

7. 減価償却費推移

(単位：百万円)

	前中間期	当中間期	増減額	前期
有形固定資産	4,620	4,196	△ 424	9,587
(個別)	(1,823)	(1,623)	(△ 191)	(3,827)
無形固定資産	512	462	△ 50	1,015
(個別)	(392)	(343)	(△ 48)	(767)

平成20年3月期 三菱ウェルファーマ中間決算<関係会社>

1. 関係会社数

	前期末	当中間期末	増減数	特記事項
連結子会社数	13	18	5	当中間期より持分法適用会社5社
関連会社数 (持分法適用)	6 (5)	1 (-)	△5 (△5)	(不二興産、三菱ファーマアメリカ、三菱ファーマヨーロッパ、三菱ファーマドイツ、三菱製薬開発(北京)有限公司)の連結子会社への移行
合計	19	19	0	

2. 主要連結会社の財務数値・従業員数

(単位：百万円)

会社名 項目	期	吉富薬品	ベネシス	MPテクノファーマ	三菱製薬 (広州)	エーピーアイ コーポレーション
資本金	当中間期	385	3,000	1,130	1,268	4,000
	前期	385	3,000	1,130	1,268	4,000
	前中間期	385	3,000	1,130	1,268	4,000
議決権 所有割合	当中間期	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	52.6%
	前期	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	52.6%
	前中間期	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	52.6%
総資産	当中間期	4,991	28,398	24,266	4,248	34,401
	前期	5,348	29,388	22,667	3,903	36,841
	前中間期	4,345	30,773	20,329	3,557	35,103
純資産	当中間期	3,991	22,494	9,767	3,584	11,567
	前期	3,957	22,825	9,804	3,366	12,018
	前中間期	3,352	22,340	9,314	2,974	12,149
売上高	当中間期	3,009	8,135	11,225	1,478	18,853
	前期	6,678	18,847	23,511	2,956	41,715
	前中間期	2,948	10,678	11,345	1,224	20,348
営業利益	当中間期	878	1,343	641	230	510
	前期	2,413	2,995	1,381	427	918
	前中間期	886	2,136	610	178	621
経常利益	当中間期	873	1,298	582	242	413
	前期	2,409	2,838	1,353	444	812
	前中間期	882	2,031	591	183	559
純損益	当中間期	452	844	344	206	△389
	前期	1,298	2,349	763	365	306
	前中間期	462	1,864	273	152	269
研究開発費	当中間期	—	1,490	287	1	923
	前期	—	2,888	603	13	2,187
	前中間期	—	1,437	341	3	963
有形固定資産 減価償却費	当中間期	1	877	519	45	756
	前期	2	2,155	1,025	107	1,782
	前中間期	1	1,055	501	62	846
従業員数	当中間期	226	421	501	383	710
	前期	227	417	452	364	694
	前中間期	223	423	453	354	695

平成20年3月期 田辺三菱製薬 業績見通し

1. 連結業績見通し（制度会計）

（単位：百万円）

	田辺製薬 前期実績	注1) 当期見通し	増減額	増減率%
売上高	177,531	318,000	140,469	79.1
売上原価	68,954	113,000	44,046	63.9
販管費	78,120	153,000	74,879	95.9
営業利益	30,456	52,000	21,544	70.7
経常利益	32,346	52,000	19,653	60.8
当期純利益	20,174	26,000	5,826	28.9
1株当たり 当期純利益	82.36円	59.26円	△ 23.10円	△ 28.0

注1) 当期見通し（連結）＝三菱ウェルファーマ上期実績＋田辺三菱下期業績見通し

2. 連結業績見通し（単純合算）

（単位：百万円）

	H19/3期実績			H20/3期見通し			増減額	増減率%
	田辺製薬	三菱ウェル ファーマ	単純合算	田辺製薬 中間期実績	田辺三菱 通期見通し	単純合算		
売上高	177,531	227,517	405,048	93,791	318,000	411,791	6,743	1.7
売上原価	68,954	79,996	148,950	37,148	113,000	150,148	1,198	0.8
売上原価率	38.8%	35.2%	36.8%	39.6%	35.5%	36.5%		
販管費	78,120	107,566	185,686	38,198	153,000	191,198	5,512	3.0
販管費比率	44.0%	47.2%	45.8%	40.7%	48.1%	46.4%		
営業利益	30,456	39,955	70,411	18,444	52,000	70,444	33	0.0
経常利益	32,346	39,307	71,653	19,232	52,000	71,232	△ 421	△ 0.6
特別利益	1,598	4,049	5,647	23	151	174	△ 5,473	
特別損失	749	2,942	3,691	2,940	7,151	10,091	6,400	
当期純利益	20,174	24,305	44,479	9,939	26,000	35,939	△ 8,540	△ 19.2
合併関連費用	—	—	—	2,760	5,000	7,760	7,760	—

*単純合算の詳細については、本資料21～25ページ参照

<参考> 個別業績見通し（制度会計）

（単位：百万円）

	田辺製薬 前期実績	注2) 当期見通し	増減額	増減率%
売上高	169,930	271,000	101,070	59.5
売上原価	66,728	102,000	35,272	52.9
販管費	74,651	122,000	47,349	63.4
営業利益	28,550	47,000	18,450	64.6
経常利益	30,597	49,000	18,403	60.1
当期純利益	19,399	27,500	8,101	41.8
1株当たり 当期純利益	79.19円	68.23円	△ 10.96円	△ 13.8

注2) 当期見通し（個別）＝田辺製薬上期実績＋田辺三菱下期業績見通し

平成20年3月期 田辺三菱製薬 業績見通し<連結単純合算>

1. 損益見通し

(単位：百万円)

	前期 下期実績	当期 下期見通し	増減額	増減率	前期 通期実績	当期 通期見通し	増減額	増減率
売上高	207,368	204,059	△ 3,309	△ 1.6	405,048	411,791	6,743	1.7
売上原価	77,557	74,393	△ 3,164	△ 4.1	148,950	150,148	1,198	0.8
売上原価率	37.4%	36.5%			36.8%	36.5%		
販管費	94,070	98,957	4,887	5.2	185,686	191,198	5,512	3.0
販管費比率	45.4%	48.5%			45.8%	46.4%		
営業利益	35,741	30,709	△ 5,032	△ 14.1	70,411	70,444	33	0.0
経常利益	36,195	31,024	△ 5,171	△ 14.3	71,653	71,232	△ 421	△ 0.6
特別利益	2,922	—	△ 2,922		5,647	174	△ 5,473	
特別損失	3,307	3,232	△ 75		3,691	10,091	6,400	
当期純利益	21,348	15,582	△ 5,766	△ 27.0	44,479	35,939	△ 8,540	△ 19.2
合併関連費用	—	2,698	2,698	—	—	7,760	7,760	—

2. セグメント別売上高見通し

(単位：百万円)

	前期 下期実績	当期 下期見通し	増減額	増減率	前期 通期実績	当期 通期見通し	増減額	増減率
医薬品事業 (構成比%)	191,599 (92.4)	188,778 (92.5)	△ 2,821	△ 1.5	374,189 (92.4)	381,481 (92.6)	7,292	1.9
医療用医薬品	188,881	186,178	△ 2,703	△ 1.4	368,622	375,800	7,177	1.9
一般用医薬品	2,718	2,600	△ 118	△ 4.3	5,567	5,681	114	2.1
その他事業 (構成比%)	15,768 (7.6)	15,281 (7.5)	△ 487	△ 3.1	30,858 (7.6)	30,309 (7.4)	△ 549	△ 1.8
売上高合計 (構成比%)	207,368 (100.0)	204,059 (100.0)	△ 3,309	△ 1.6	405,048 (100.0)	411,791 (100.0)	6,743	1.7
(注)内、海外売上高	(17,489)	(19,290)	(1,801)	(10.3)	(33,601)	(38,190)	(4,589)	(13.7)

(注)為替計画レート：1\$=115円

3. 主要製品売上高見通し

(単位：億円) (億円未満四捨五入)

	前期 下期実績	当期 下期見通し	増減額	増減率	前期 通期実績	当期 通期見通し	増減額	増減率
ラジカッター	145	144	△ 1	△ 0.6	286	290	4	1.4
レミケード	112	148	36	31.9	205	283	78	38.0
ウルソ	79	94	14	18.0	159	178	19	11.8
アンブラーグ	84	93	9	10.2	167	186	19	11.7
ヘルベッサー国内	66	61	△ 5	△ 8.0	134	128	△ 6	△ 4.5
ヘルベッサー海外	21	24	4	16.8	46	48	3	6.0
セレジスト	72	72	0	0.0	145	151	6	4.1
タナトリル国内	63	60	△ 4	△ 6.0	128	124	△ 4	△ 3.1
タナトリル海外	7	9	2	22.0	17	20	3	15.4
ヴェノグロブリン-H	68	67	△ 0	△ 0.7	132	136	3	2.5
デパス	56	57	1	2.1	113	116	3	2.7
リプル	52	50	△ 2	△ 4.4	102	103	1	0.8
メインテート	50	50	0	0.6	99	102	3	2.9
サアミオン	50	42	△ 8	△ 16.0	102	93	△ 10	△ 9.4
タリオン	44	55	12	26.5	70	89	19	27.2
オメプラゾン	30	32	2	8.1	59	65	6	9.6
ガストローム	31	28	△ 2	△ 7.1	61	59	△ 3	△ 4.2
テオドール	38	29	△ 9	△ 23.6	77	59	△ 18	△ 23.0
ノイアート	30	28	△ 1	△ 4.6	59	57	△ 2	△ 2.6
フルカリック	27	26	△ 1	△ 3.3	53	53	△ 1	△ 1.6
ワクチン国内	93	78	△ 15	△ 16.4	142	146	4	2.6
ワクチン海外	12	9	△ 3	△ 27.3	19	20	0	1.5

平成20年3月期 田辺三菱製薬 業績見通し<連結単純合算>

4. 販売費及び一般管理費／総人件費見通し

(単位：百万円)

	前期 下期実績	当期 下期見通し	増減額	増減率	前期 通期実績	当期 通期見通し	増減額	増減率
販 管 費	94,070	98,957	4,887	5.2	185,686	191,198	5,512	3.0
研 究 開 発 費	39,532	38,889	△ 643	△ 1.6	75,758	75,528	△ 230	△ 0.3
研究開発費比率	19.1%	19.1%			18.7%	18.3%		
人 件 費	27,584	25,476	△ 2,108	△ 7.6	55,281	52,668	△ 2,613	△ 4.7
注) のれん償却費	—	5,000	5,000	—	—	5,000	5,000	—
そ の 他	26,952	29,592	2,640	9.8	54,646	58,002	3,356	6.1
総 人 件 費	48,145	46,498	△ 1,647	△ 3.4	96,352	94,845	△ 1,507	△ 1.6

注) 約1,500億円を15年償却、平成20年3月期業績見通しには、のれん償却費下期分(50億円)を計上

5. 設備投資見通し

(単位：百万円)

	前期 下期実績	当期 下期見通し	増減額	増減率	前期 通期実績	当期 通期見通し	増減額	増減率
設備投資額／発生ベース	4,738	5,000	262	5.5	9,541	11,244	1,703	17.8

<当期の主な取得予定設備>

- ・研究関係設備 25億円
- ・本支店関係設備 12億円
- ・生産関係設備 7億円
- ・関係会社設備 63億円

6. 情報システム開発投資見通し(無形固定資産)

(単位：百万円)

	前期 下期実績	当期 下期見通し	増減額	増減率	前期 通期実績	当期 通期見通し	増減額	増減率
システム投資額／発生ベース	226	800	574	254.0	609	2,043	1,434	235.5

<当期の主なシステム投資予定>

- ・合併関連システム 10億円
- ・その他 10億円

7. 減価償却費見通し

(単位：百万円)

	前期 下期実績	当期 下期見通し	増減額	増減率	前期 通期実績	当期 通期見通し	増減額	増減率
有 形 固 定 資 産	7,464	7,100	△ 364	△ 4.9	14,432	13,251	△ 1,181	△ 8.2
無 形 固 定 資 産	1,440	900	△ 540	△ 37.5	2,944	1,937	△ 1,007	△ 34.2

平成20年3月期 田辺三菱製薬 業績見通し<連結単純合算>

8. 当初予想との比較

(単位：億円)

	上半期			下半期			通期		
	当初予想	実績	増減率%	当初予想	見通し	増減率%	当初予想	見通し	増減率%
売上高	2,050	2,077	1.3	2,135	2,041	△ 4.4	4,185	4,118	△ 1.6
医薬品事業		1,927	—		1,888	—		3,815	—
ラジカット	149	146	△ 2.2	148	144	△ 2.4	297	290	△ 2.3
レミケード	126	135	7.3	145	148	2.1	270	283	4.5
アンブラーグ	96	93	△ 3.3	95	93	△ 2.1	191	186	△ 2.7
ウルソ	92	84	△ 8.5	103	94	△ 9.1	195	178	△ 8.8
ヘルベッサー国内	65	67	3.8	64	61	△ 4.2	128	128	△ 0.2
ヘルベッサー海外	24	24	2.1	22	24	10.4	46	48	6.1
セレジスト	77	79	2.5	77	72	△ 5.6	153	151	△ 1.5
タナトリル国内	62	64	2.9	61	60	△ 2.1	123	124	0.4
タナトリル海外	8	11	31.6	10	9	△ 15.0	19	20	6.0
ヴェノグロブリン-Ⅱ	66	69	3.8	67	67	△ 0.0	133	136	1.9
デパス	59	58	△ 1.0	59	57	△ 2.7	118	116	△ 1.9
リプル	53	53	0.4	51	50	△ 2.4	104	103	△ 1.0
メインテート	51	52	2.1	51	50	△ 1.7	102	102	0.2
サアミオン	47	51	7.7	44	42	△ 5.8	91	93	1.2
タリオン	29	33	15.8	55	55	0.5	84	89	5.8
オメプラゾン	32	32	0.6	34	32	△ 5.6	66	65	△ 2.6
ガストローム	30	30	0.5	29	28	△ 2.4	59	59	△ 0.9
テオドール	33	30	△ 10.1	34	29	△ 15.0	68	59	△ 12.6
ノイアート	29	29	△ 0.5	29	28	△ 3.5	58	57	△ 2.0
フルカリック	25	27	5.1	25	26	5.0	50	53	5.1
ワクチン国内	55	69	25.5	78	78	△ 0.5	133	146	10.2
ワクチン海外	7	11	56.4	8	9	5.6	15	20	28.6
一般用医薬品	29	31	6.3	26	26	0.0	55	57	3.3
その他事業		150	—		153	—		303	—
売上原価		758	—		744	—	1,535	1,501	△ 2.2
売上原価率		36.5%			36.5%		36.7%	36.5%	
販管費	960	922	△ 4.0	1,000	990	△ 1.0	1,960	1,912	△ 2.5
研究開発費	391	366	△ 6.3	394	389	△ 1.3	785	755	△ 3.8
人件費		272	—		255	—		527	—
のれん償却費	—	—	—	50	50	—	50	50	—
その他		284	—		296	—		580	—
営業利益	345	397	15.2	345	307	△ 11.0	690	704	2.1
経常利益	345	402	16.5	350	310	△ 11.4	695	712	2.5
当期純利益	175	204	16.3	200	156	△ 22.1	375	359	△ 4.2

平成20年3月期 田辺三菱製薬 業績見通し<連結単純合算>

9. 四半期業績推移（損益計算書）

（単位：百万円）

	平成19年3月期					平成20年3月期			
	第1四半期 4月～6月	第2四半期 7月～9月	第3四半期 10月～12月	第4四半期 1月～3月	通期実績	第1四半期 4月～6月	第2四半期 7月～9月	下期見通し	通期見通し
売上高	102,899 25.4%	94,780 23.4%	117,168 28.9%	90,199 22.3%	405,048 100.0%	104,913 25.5%	102,819 25.0%	204,059 49.6%	411,791 100.0%
医薬品事業	95,568 25.5%	87,021 23.3%	109,625 29.3%	81,974 21.9%	374,189 100.0%	97,461 25.5%	95,242 25.0%	188,778 49.5%	381,481 100.0%
その他事業	7,330 23.8%	7,759 25.1%	7,543 24.4%	8,225 26.7%	30,858 100.0%	7,451 24.6%	7,576 25.0%	15,281 50.4%	30,309 100.0%
売上原価 売上原価率	36,487 35.5%	34,905 36.8%	42,621 36.4%	34,935 38.7%	148,950 36.8%	38,849 37.0%	36,906 35.9%	74,393 36.5%	150,148 36.5%
販売費及び 一般管理費	43,258 23.3%	48,358 26.0%	44,704 24.1%	49,365 26.6%	185,686 100.0%	44,278 23.2%	47,962 25.1%	98,957 51.8%	191,198 100.0%
研究開発費	16,677 22.0%	19,548 25.8%	17,809 23.5%	21,723 28.7%	75,758 100.0%	17,775 23.5%	18,863 25.0%	38,889 51.5%	75,528 100.0%
人件費	13,577 24.6%	14,119 25.5%	13,758 24.9%	13,824 25.0%	55,280 100.0%	13,473 25.6%	13,719 26.0%	25,476 48.4%	52,668 100.0%
その他	13,002 23.8%	14,690 26.9%	13,135 24.0%	13,818 25.3%	54,647 100.0%	13,029 20.7%	15,379 24.4%	34,592 54.9%	63,001 100.0%
営業利益	23,153 32.9%	11,516 16.4%	29,917 42.5%	5,823 8.3%	70,411 100.0%	21,784 30.9%	17,950 25.5%	30,709 43.6%	70,444 100.0%
経常利益	24,063 33.6%	11,395 15.9%	30,620 42.7%	5,575 7.8%	71,653 100.0%	22,703 31.9%	17,505 24.6%	31,024 43.6%	71,232 100.0%
四半期（当期） 純利益	14,941 33.6%	8,189 18.4%	18,295 41.1%	3,052 6.9%	44,479 100.0%	12,927 36.0%	7,429 20.7%	15,582 43.4%	35,939 100.0%

（注）各項目（売上原価を除く）の下段は進捗率を表示

平成20年3月期 田辺三菱製薬 業績見通し<連結単純合算>

(単位：億円)

(億円未満四捨五入)

10. 四半期業績推移 (主要製品売上高)

	平成19年3月期					平成20年3月期			
	第1四半期 4月～6月	第2四半期 7月～9月	第3四半期 10月～12月	第4四半期 1月～3月	通期実績	第1四半期 4月～6月	第2四半期 7月～9月	下期見通し	通期見通し
ラジカット	71 24.9%	70 24.4%	83 29.2%	62 21.5%	286 100.0%	72 25.0%	74 25.4%	144 49.7%	290 100.0%
レミケード	46 22.7%	46 22.7%	60 29.3%	52 25.4%	205 100.0%	63 22.2%	72 25.6%	148 52.2%	283 100.0%
アンプラーグ	41 24.9%	41 24.5%	47 28.2%	37 22.4%	167 100.0%	45 24.4%	48 25.7%	93 49.9%	186 100.0%
ウルソ	40 25.3%	40 24.8%	44 27.7%	35 22.1%	159 100.0%	42 23.7%	42 23.8%	94 52.6%	178 100.0%
ヘルベッサ—国内	38 28.5%	30 22.1%	40 29.9%	26 19.4%	134 100.0%	36 28.3%	31 24.2%	61 47.6%	128 100.0%
ヘルベッサ—海外	13 28.0%	12 26.1%	10 21.3%	11 24.6%	46 100.0%	11 22.5%	13 27.0%	24 50.5%	48 100.0%
セレジスト	40 27.8%	32 22.2%	44 30.1%	29 19.8%	145 100.0%	41 27.0%	38 25.0%	72 48.0%	151 100.0%
タナトリル国内	36 28.0%	29 22.5%	39 30.6%	24 19.0%	128 100.0%	34 27.8%	30 24.1%	60 48.1%	124 100.0%
タナトリル海外	6 32.3%	4 26.0%	3 16.2%	4 25.5%	17 100.0%	4 21.9%	7 34.0%	9 44.1%	20 100.0%
ヴェノグロブリン—IH	33 25.2%	31 23.7%	38 29.0%	29 22.1%	132 100.0%	35 25.6%	34 24.9%	67 49.5%	136 100.0%
デパス	29 25.5%	28 24.7%	31 27.8%	25 22.0%	113 100.0%	29 25.4%	29 25.2%	57 49.5%	116 100.0%
リプル	26 25.0%	25 24.0%	28 27.7%	24 23.3%	102 100.0%	26 25.6%	27 26.0%	50 48.3%	103 100.0%
メインテート	28 27.9%	22 22.0%	29 29.7%	20 20.4%	99 100.0%	28 27.1%	25 24.0%	50 48.9%	102 100.0%
サアミオン	29 28.4%	23 22.9%	30 29.9%	19 18.9%	102 100.0%	27 29.5%	23 25.3%	42 45.2%	93 100.0%
タリオン	16 22.6%	10 14.7%	18 25.9%	26 36.8%	70 100.0%	18 20.3%	15 17.4%	55 62.3%	89 100.0%
オメブラゾン	15 24.9%	15 24.7%	17 28.4%	13 22.0%	59 100.0%	16 24.3%	17 25.9%	32 49.8%	65 100.0%
ガストローム	17 27.3%	14 22.8%	18 29.8%	12 20.1%	61 100.0%	16 27.2%	14 24.3%	28 48.4%	59 100.0%
テオドール	21 26.9%	18 23.4%	24 31.2%	14 18.5%	77 100.0%	16 27.1%	14 23.7%	29 49.3%	59 100.0%
ノイアート	15 26.3%	14 23.2%	18 30.6%	12 20.0%	59 100.0%	14 24.6%	15 25.9%	28 49.5%	57 100.0%
フルカリック	14 25.7%	13 24.1%	16 29.8%	11 20.4%	53 100.0%	14 25.9%	13 24.8%	26 49.3%	53 100.0%
ワクチン国内	17 11.9%	33 23.0%	80 56.4%	12 8.7%	142 100.0%	40 27.6%	28 19.3%	78 53.1%	146 100.0%
(内、インフルエンザ)	(△ 1) (△ 2.1%)	(12) (18.5%)	(63) (99.4%)	(△ 10) (△ 15.7%)	(63) (100.0%)	(△ 1) (△ 1.5%)	(10) (17.5%)	(47) (84.0%)	(56) (100.0%)
(内、ミールビック)	(13) (21.4%)	(16) (26.7%)	(14) (23.2%)	(17) (28.6%)	(59) (100.0%)	(31) (46.8%)	(13) (19.2%)	(23) (34.0%)	(67) (100.0%)
ワクチン海外	3 14.0%	5 23.2%	8 38.7%	5 24.0%	19 100.0%	7 34.3%	4 20.8%	9 44.9%	20 100.0%
医療用医薬品	941 25.5%	856 23.2%	1,083 29.4%	806 21.9%	3,686 100.0%	961 25.6%	935 24.9%	1,862 49.5%	3,758 100.0%
一般用医薬品	15 26.2%	14 25.0%	14 24.5%	14 24.4%	56 100.0%	14 24.4%	17 29.8%	26 45.8%	57 100.0%
医薬品事業	956 25.5%	870 23.3%	1,096 29.3%	820 21.9%	3,742 100.0%	975 25.5%	952 25.0%	1,888 49.5%	3,815 100.0%
その他事業	73 23.8%	78 25.1%	75 24.4%	82 26.7%	309 100.0%	75 24.6%	76 25.0%	153 50.4%	303 100.0%
売上高合計	1,029 25.4%	948 23.4%	1,172 28.9%	902 22.3%	4,050 100.0%	1,049 25.5%	1,028 25.0%	2,041 49.6%	4,118 100.0%

(注) 各項目の下段は進捗率を表示

平成20年3月期 田辺製薬個別中間財務諸表<損益状況>

1. 売上高/売上原価/販売費及び一般管理費 (単位：百万円)

	前中間期	当中間期	増減額	増減率%	主なポイント
売上高	82,028	90,094	8,065	9.8	
医薬品事業 (構成比%)	76,134 (92.8)	84,034	7,900	10.4	主な増収要因 レミケード +42億円 ワクチン国内 +19億円 (内 ミールビック +16億円)
医療用医薬品 (国内)	73,446 (69,832)	81,029 (77,046)	7,582 (7,214)	10.3 (10.3)	タリオン +7億円、セレジスト +6億円
(輸出)	(3,614)	(3,983)	(368)	(10.2)	主な減収要因 プロスコープ △4億円、サアミオン △2億円 ローコール △2億円
一般用医薬品	2,687	3,004	317	11.8	<参考> ヘルベッサー輸出 当中間期実績：15億円 前年同期比：△3億円 (△14.3%) タナトリル輸出 当中間期実績：7億円 前年同期比：+0億円 (+4.9%)
その他事業 (構成比%)	5,894 (7.2)	6,059	165	2.8	
売上原価 売上原価率	30,692 37.4%	36,308 40.3%	5,616	18.3	原価率の高いレミケード、ミールビックの売上高増加などによる売上原価率上昇
販売費 販売費比率	37,482 45.7%	36,835 40.9%	△646	△1.7	
研究開発費 研究開発費比率	14,057 17.1%	12,562 13.9%	△1,494	△10.6	導入契約一時金の支払い減少等
人件費	10,396	10,539	143	1.4	
販売諸費	2,677	3,414	737	27.6	製品説明会費用の増加等
その他	10,351	10,318	△32	△0.3	
営業利益	13,854	16,949	3,095	22.3	
輸出売上高	5,691	6,169	478	8.4	輸出比率6.8% (前同6.9%) 平均為替1\$ = 119.74円 (前同115.23円)
総人件費	15,595	16,028	433	2.8	

平成20年3月期 田辺製薬個別中間財務諸表<損益状況>

2. 営業外損益／特別損益／法人税等 (単位：百万円)

	前中間期	当中間期	増減額	主なポイント
営業外収益	1,221	1,372	150	
受取利息	233	531	298	債券等の利息増加
受取配当金	392	480	88	
その他	595	359	△235	為替差益 △2億円
営業外費用	297	331	34	
支払利息	1	9	8	
その他	295	322	26	
経常利益	14,778	17,989	3,211	
特別利益	32	8	△23	
投資有価証券売却益	24	5	△18	
貸倒引当金戻入額	5	—	△5	
固定資産売却益	2	—	△2	
その他	—	3	3	
特別損失	20	2,921	2,900	
合併関連費用	—	2,047	2,047	システム開発費用、営業拠点統合費用等
特別退職金	—	712	712	
固定資産処分損	—	130	130	
投資有価証券評価損	17	27	9	
投資有価証券売却損	3	3	0	
税引前中間純利益	14,790	15,077	286	
法人税、住民税 及び事業税	6,033	4,476	△1,557	
法人税等調整額	△714	1,289	2,004	
中間純利益	9,472	9,311	△160	

平成20年3月期 田辺製薬個別中間財務諸表<財務状況>

1. 資産・負債・純資産の状況

(単位：百万円)

	前中間期末	当中間期末 (構成比%)	増減額	前期末	増減額 (対前期末)	主なポイント (上段：前中間期末比較、下段：前期末比較)
総 資 産	284,183	295,372 (100.0)	11,189	291,295	4,077	
流 動 資 産	121,300	134,311 (45.5)	13,010	131,718	2,592	
現金及び預金	28,954	22,866	△ 6,088	33,394	△ 10,527	
有 価 証 券	13,825	26,977	13,151	19,372	7,605	取得 +663億円、償還 △572億円、投資有価証券より振替 △40億円
売上債権(注1) (売上債権回転月数)	57,178 (4.18ヵ月)	62,163 (4.14ヵ月)	4,984 (△0.04ヵ月)	59,039 (4.17ヵ月)	3,123 (△0.03ヵ月)	取得 +415億円、償還 △366億円、投資有価証券より振替 +25億円
た な 卸 資 産	15,971	16,230	258	14,383	1,846	レミケード等の売上債権が増加 ワクチン等の売上債権が増加
そ の 他	5,370	6,074	703	5,528	545	レミケード、ワクチン等の商品在庫が増加 未収金 +5億円 繰延税金資産 △6億円、未収金 +11億円
固 定 資 産	162,882	161,061 (54.5)	△ 1,820	159,577	1,484	
有 形 固 定 資 産	32,297	31,233	△ 1,063	31,273	△ 39	減価償却 30億円、設備投資 22億円、除却 △3億円 減価償却 14億円、設備投資 15億円、除却 △2億円
無 形 固 定 資 産	2,780	1,463	△ 1,317	2,000	△ 536	減価償却 15億円、情報システム開発投資 3億円 減価償却 6億円、情報システム開発投資 2億円
投資有価証券(注2)	102,538	102,888	349	100,687	2,200	取得 +130億円、売却 △34億円、有価証券へ振替 △40億円、時価評価 △52億円 取得 +85億円、有価証券へ振替 △25億円、時価評価 △36億円
前払年金費用	19,114	19,375	260	19,456	△ 81	
その他の投資等	6,151	6,101	△ 49	6,160	△ 59	
負 債	63,559	64,676 (21.9)	1,116	64,509	166	
流 動 負 債	37,230	42,376 (14.3)	5,145	40,277	2,099	
仕入債務(注3)	19,304	14,513	△ 4,790	14,789	△ 275	レミケード仕入債務の減少等
未 払 金	5,454	12,728	7,273	7,627	5,100	有価証券未払金、合併関連費用未払金の増加等 設備未払金、有価証券未払金の増加等
未払法人税等	6,131	4,669	△ 1,461	9,183	△ 4,514	
そ の 他	6,340	10,464	4,124	8,676	1,788	預り金 +40億円 預り金 +16億円
固 定 負 債	26,328	22,299 (7.6)	△ 4,028	24,232	△ 1,932	
繰延税金負債	9,959	7,215	△ 2,744	8,158	△ 942	
退職給付引当金	10,850	10,191	△ 659	10,859	△ 668	
スモン訴訟健康 管理手当等引当金	5,226	4,554	△ 672	4,891	△ 336	健康管理手当等の支払いによる取り崩し
そ の 他	292	339	46	323	15	
純 資 産	220,623	230,696 (78.1)	10,072	226,785	3,910	
株 主 資 本	200,796	214,086 (72.5)	13,289	207,753	6,332	
資 本 金	44,261	44,261	—	44,261	—	
資 本 剰 余 金	48,136	48,139	2	48,137	1	
利 益 剰 余 金	130,617	143,977	13,360	137,605	6,372	純利益 192億円、配当金支払 59億円 中間純利益 93億円、配当金支払 29億円
自 己 株 式	△ 22,219	△ 22,292	△ 73	△ 22,251	△ 41	
評価・換算差額等	19,826	16,610 (5.6)	△ 3,216	19,031	△ 2,421	
その他有価証券 評価差額金	19,814	16,556	△ 3,258	18,781	△ 2,225	時価の下落による減少

(注1) 売上債権=受取手形+売掛金 (注2) 投資有価証券・・・関係会社株式は投資有価証券に含めた。

(注3) 仕入債務=買掛金

平成20年3月期 三菱ウェルファーマ個別中間財務諸表<損益状況>

1. 売上高/売上原価/販売費及び一般管理費 (単位:百万円)

	前中間期	当中間期	増減額	増減率%	主なポイント
売上高	91,956	94,120	2,163	2.4	
医薬品事業 (構成比%)	91,956 100.0	94,120 100.0	2,163	2.4	アンブラーグ+11億円、ラジカット+5億円、 ウルソ+5億円、ヴェノグロブリン-IH+4億円
その他事業 (構成比%)	0 0.0	0 0.0	0	0.0	テオドール△9億円
売上原価 売上原価率	29,969 32.6%	30,267 32.2%	298	1.0	
販売費 販管費比率	45,473 49.4%	46,446 49.4%	973	2.1	
研究開発費 研究開発費比率	19,551 21.3%	21,471 22.8%	1,920	9.8	
人件費	12,978	12,095	△883	△7.3	主に退職給付費用の減少
販売諸費	4,437	4,618	181	3.9	
その他	8,505	8,260	△244	△3.0	
営業利益	16,517	17,452	934	5.7	
海外売上高	(2,819)	(3,261)	(442)	(15.7)	
総人件費	(19,173)	(18,168)	(△1,004)	△5.2	数理計算上の差異償却額減少による退職給付費用 の減少

平成20年3月期 三菱ウェルファーマ個別中間財務諸表<損益状況>

2. 営業外損益／特別損益／法人税等 (単位：百万円)

	前中間期	当中間期	増減額	主なポイント
営業外収益	2,144	2,948	804	
受取利息	187	309	122	
受取配当金	1,447	2,274	826	子会社からの配当金増加+908
不動産賃貸料	283	265	△ 18	
為替差益	33	—	△ 33	
その他	191	99	△ 93	為替差益の減少△33
営業外費用	602	725	122	
支払利息	8	19	10	
寄付金	242	205	△ 36	
貸倒引当金繰入額	—	121	121	
その他	351	378	26	為替差損の増加+15
経常利益	18,059	19,675	1,616	
特別利益	1,462	136	△ 1,326	
固定資産売却益	61	38	△ 23	
投資有価証券売却益	—	97	97	
親会社株式売却	1,401	—	△ 1,401	
特別損失	233	2,770	2,537	
特別退職金	171	856	684	
HCV訴訟損失	—	43	43	
引当金繰入額	—	43	43	
固定資産除却損	61	—	△ 61	
その他	0	1,870	1,870	合併関連費用+1,862
税引前中間純利益	19,289	17,041	△ 2,247	
法人税、住民税 及び事業税	4,499	4,159	△ 340	
法人税等調整額	2,048	1,431	△ 617	
中間純利益	12,741	11,451	△ 1,290	

平成20年3月期 三菱ウェルファーマ個別中間財務諸表<財務状況>

1. 資産・負債・純資産の状況 (単位：百万円)

	前期末	当中間期末	構成比 %	増減額	主なポイント
総 資 産	295,010	298,371	100.0	3,361	
流 動 資 産	190,886	187,086	62.7	△ 3,799	
現金及び預金	6,440	25,907		19,467	
売上債権(注1) (売上債権回転月数)	62,027 (3.85ヵ月)	61,294 (3.73ヵ月)		△ 734	
たな卸資産	20,004	19,280		△ 724	
短期貸付金	72,557	48,694		△ 23,863	三菱ケミカルホールディングスグループ金融 子会社エムシーエフエーへの貸付金減少
関係会社短期貸付金	13,472	13,783		310	
繰延税金資産	10,704	11,160		456	
その他の流動資産	5,678	6,966		1,287	未収入金+1,305
固 定 資 産	104,124	111,285	37.3	7,160	
有形固定資産	27,947	27,006		△ 940	減価償却△1,631、取得+922
無形固定資産	1,169	1,846		676	減価償却△343、取得+1,021
投資有価証券(注2)	59,933	62,984		3,050	MPヘルスケア ベンチャー マネジメン ト増資
前払年金費用	9,496	13,668		4,172	退職給付費用マイナス繰入及び掛金拋出
その他の投資等	5,577	5,779		202	
負 債	60,794	60,213	20.2	△ 581	
流 動 負 債	53,909	52,446	17.6	△ 1,463	
仕入債務(注3)	18,703	16,342		△ 2,362	
短期借入金	9,870	10,374		503	
未払金	11,984	9,251		△ 2,733	三菱ケミカルホールディングス連結納税グ ループからの離脱による連結納税部分の減少
その他の流動負債	13,349	16,478		3,128	三菱ケミカルホールディングス連結納税グ ループからの離脱による未払法人税等の増加
固 定 負 債	6,885	7,766	2.6	881	
繰延税金負債	1,153	2,453		1,299	主に退職給付における掛金の拋出
退職給付引当金	2,959	2,899		△ 59	
HCV訴訟損失引当金	2,092	2,135		43	
その他の固定負債	680	279		△ 400	
純 資 産	234,216	238,158	79.8	3,942	
株 主 資 本	229,039	233,970	78.4	4,931	
資 本 金	30,560	5,738		△ 24,822	その他資本剰余金への振替
資 本 剰 余 金	70,974	95,796		24,822	資本金からの振替
利 益 剰 余 金	127,504	132,435		4,931	
評 価 ・ 換 算 差 額 等	5,176	4,188	1.4	△ 988	
その他有価証券評価差額金	5,177	4,188		△ 989	

(注1) 売上債権=受取手形+売掛金 (注2) 投資有価証券・・・関係会社株式は投資有価証券に含めた。
(注3) 仕入債務=支払手形+買掛金

新製品開発状況（平成19年11月1日現在）

1. 国内開発状況

①新規化合物

治験コード/製品名 (一般名)	薬剤分類 (予想適応症など)	開発段階	起源	備考
TA-8317 (フェンタニルクエン酸塩)	麻薬鎮痛剤 (癌性突出痛・口腔粘膜吸収剤)	Phase III	米:セファロン	
MCC-847	ロイコトリエンD4受容体拮抗剤 (気管支喘息)	Phase III	英:アストラゼネカ	
	(アレルギー性鼻炎)	Phase II		
APTA-2217 (ロフルミラスト)	PDEIV阻害剤 (喘息)	Phase II / III	デンマーク: ナイコメッド	共同開発 (デンマーク: ナイコメッド)
	(COPD)	Phase II / III		
FTY720 (フィンゴリモド塩酸塩)	スフィンゴシン1リン酸受容体作動剤 (多発性硬化症)	Phase II	自社	共同開発 (ノバルティスファーマ) (三井製糖)
MP-513	DPPIV阻害剤 (2型糖尿病)	Phase II	自社	
MP-424	NS3-4Aプロテアーゼ阻害剤 (C型慢性肝炎)	Phase I	米: ヴァーテックス	(VX-950)
MP-214	D3/D2拮抗剤 (統合失調症)	Phase I	ハンガリー: ゲデオンリヒター	(RGH-188)
MP-435	C5a拮抗剤 (関節リウマチ)	Phase I	自社	
TA-6666	DPPIV阻害剤 (2型糖尿病)	Phase I	自社	
CNTO-148 (ゴリムマブ)	抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤 (関節リウマチ)	Phase I	米:セントコア	共同開発 (ヤンセンファーマ)
TA-7284	SGLT2阻害剤 (糖尿病)	Phase I	自社	

新製品開発状況（平成19年11月1日現在）

②効能追加

治験コード/製品名 (一般名)	薬剤分類 (予想適応症など)	開発段階	起源	備考
ノイアート (乾燥濃縮人アンチトロンビン III)	血液凝固阻止剤 (妊娠中毒症)	申請中	自社	共同開発 (CSL ベーリング)
レミケード (インフリキシマブ〔遺伝子組 換え〕)	抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤 (クローン病・維持治療)	申請中	米:セントコア	
	(関節リウマチ:用法・用量の変更)	申請中		
	(潰瘍性大腸炎)	Phase III		
	(乾癬)	Phase III		
	(強直性脊椎炎)	Phase III		
献血ヴェノグロブリン-IH (ポリエチレングリコール処理 人免疫グロブリン)	ヒト免疫グロブリンG (IgG 2欠乏症)	申請中	自社	
	(多発性筋炎・皮膚筋炎〔希少疾病用 医薬品指定〕)	申請中		
	(全身性強皮症)	Phase III		
	(重症筋無力症)	Phase III		
ノバスタン (アルガトロバン)	抗トロンビン剤 (ヘパリン起因性血小板減少症 (HIT))	申請中	自社	
静注用ヘプスブリン-IH	抗HBsヒト免疫グロブリン (肝移植後のHBV再感染予防)	申請中	自社	
アンプラーグ (塩酸サルポグレラート)	5HT ₂ 受容体拮抗剤 (脳梗塞再発予防)	Phase III	自社	
ラジカット (エダラボン)	フリーラジカル消去剤 (筋萎縮性側索硬化症〔希少疾病用 医薬品指定〕)	Phase III	自社	
バリキサ (バルガンシクロビル)	抗ウイルス剤 (移植)	Phase III	スイス:ロシュ	
モディオダール (モダフィニル)	精神神経用剤 (閉塞性睡眠時無呼吸症候群)	Phase III	米:セファロン	共同開発 (アルフレッサファーマ)
メインテート (ビソプロロール)	選択的 β 1遮断剤 (慢性心不全)	Phase III	独:メルク	
コレバイン (コレスチミド(JAN))	新規糖尿病改善作用 (2型糖尿病)	Phase II	自社	
	リン吸収阻害作用 (高リン血症)	Phase I		

新製品開発状況（平成19年11月1日現在）

2. 海外開発状況

①新規化合物

治験コード/製品名 (一般名)	薬剤分類 (予想適応症など)	地域	開発段階	起源	備考
MP-146	尿毒症毒素吸着 (慢性腎臓病)	米国、欧州	Phase III	クレハ	
MCI-196 (Colestilan(INN))	リン吸収阻害剤 (高リン血症)	米国、欧州	Phase III	自社	
TA-6666	DPPIV阻害剤 (2型糖尿病)	米国	Phase II	自社	
TA-5538	NK-1拮抗剤 (過活動膀胱)	欧州	Phase II	自社	
MCC-135 (Caldaret)	心筋内カルシウム調節剤 (心筋梗塞)	米国、欧州	Phase II	自社	
MCC-257	神経栄養因子賦活剤 (糖尿病性神経障害)	米国	Phase II	自社	
TA-5493	p38阻害剤 (関節リウマチ、乾癬)	欧州	Phase I	自社	
MCI-186 (エダラボン)	フリーラジカル消去剤 (脳梗塞急性期)	欧州	Phase I	自社	
MP-513	DPPIV阻害剤 (2型糖尿病)	米国、欧州	Phase I	自社	
GB-1057 (人血清アルブミン〔遺伝子組換え〕)	遺伝子組換えヒト血清アルブミン (安定化剤)	米国	Phase I	自社	

②効能追加

治験コード/製品名 (一般名)	薬剤分類 (予想適応症など)	地域	開発段階	起源	備考
ノバスタン (アルガトロバン)	抗トロンビン剤 (脳血栓症急性期)	中国	申請中	自社	
	(ヘパリン起因性血小板減少症(HIT))	欧州	申請準備中		
	(HIT患者でのPCI)	欧州	Phase III		

新製品開発状況（平成19年11月1日現在）

3. 導出品の開発状況

治験コード/製品名 (一般名)	薬剤分類 (予想適応症など)	地域	開発段階	導出先
FTY720 (フィンゴリモド塩酸塩)	スフィンゴシン1リン酸受容体作動剤 (多発性硬化症)	米国、欧州	Phase III	スイス:ノバルティス
MKC-242	セロトニン1A作動剤 (全般性不安障害/不眠症)	米国	Phase II	米:メディシノバ
MCI-225	ノルアドレナリン取込み阻害+セロトニン3 阻害剤 (下痢型過敏性腸症候群)	米国	Phase II	米:ダイノジェン
MKC-733	セロトニン3作動剤 (便秘型過敏性腸症候群) (夜間性胃食道逆流症)	米国	Phase II	米:ダイノジェン
		米国	Phase I	
TA-1790 アバナフィル	PDEV阻害剤 (勃起不全)	米国	Phase II	米:ヴィーヴァス
		韓国	Phase I	韓:チョンウエイ
TA-2005 カルモテロール	長時間作用性 β 2刺激剤 (喘息、COPD)	欧州	Phase II	伊:キエージェー
T-0047	細胞接着阻害剤[α 4 β 7/ α 4 β 1阻害剤] (多発性硬化症)	欧州	Phase II	英:グラクソ・スミスクライン
T-0128	I型DNAトポイソメラーゼ阻害剤(DDS製剤: カンプトテシン誘導体) (悪性腫瘍)	欧州	Phase I	伊:メナリーニ
TA-7284	SGLT2阻害剤 (糖尿病)	欧州、米国	Phase I	米:ジョンソンアンドジョンソン
sTU-199 (テナトプラゾール)	プロトンポンプ阻害剤 (胃食道逆流症)	欧州	Phase I	仏:ネグマ(シデム)
MCC-555 (Netoglitazone)	PPARガンマ作動剤 (2型糖尿病)	米国	Phase I	米:パーレジェン
Y-39983	ROCK阻害剤 (緑内障)	日本	Phase I	日:千寿
MP-412	チロシンキナーゼ阻害剤 (悪性腫瘍)	米国	Phase I	米:アヴェオ
TT-138	ベータ3作動剤 (頻尿/尿失禁)	米国	Phase I	米:メディシノバ

新製品開発状況（平成19年11月1日現在）

4. 平成19年3月期決算発表時点からの変更点

治験コード/製品名 (一般名)	薬剤分類 (予想適応症など)	前回発表時点 ^{注)}	平成19年11月1日現在
オメプラゾン	プロトンポンプ阻害剤 (非びらん性胃食道逆流症) (二次除菌)	国内 申請中	承認
メドウェイ (人血清アルブミン〔遺伝子 組換え〕)	遺伝子組換えヒト血清アルブミン (低アルブミン血症)	国内 申請中	承認
レミケード (インフリキシマブ〔遺伝子組 換え〕)	抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤 (関節リウマチ:用法・用量の変更)	国内 Phase III	申請中
ノバスタン (アルガトロバン)	抗トロンビン剤 (ヘパリン起因性血小板減少症(HIT))	記載なし	国内 申請中
静注用ヘブスブリン-IH	抗HBsヒト免疫グロブリン (肝移植後のHBV再感染予防)	記載なし	国内 申請中
献血ヴェノグロブリン-IH	ヒト免疫グロブリンG (重症筋無力症)	記載なし	国内 Phase III
TA-7284	SGLT2阻害剤 (糖尿病)	記載なし	導出(海外) Phase I 国内 Phase I
MP-435	C5a拮抗剤 (関節リウマチ)	記載なし	国内 Phase I
メインテート (ビソプロロール)	選択的 β 1遮断剤 (慢性心不全)	国内 申請中	国内 Phase III
ガストローム	消化管粘膜保護剤 (潰瘍性大腸炎)	国内 Phase III 海外 Phase II	削除(開発中止)
TA-1702	BKチャンネル開口剤 (過活動膀胱)	導出(海外) Phase I	削除(開発中止)
MCC-977	抗トロンビン剤 (深部静脈血栓症)	海外 Phase II	削除(開発中止)
Y-700	キサンチンオキシダーゼ阻害剤 (痛風・高尿酸血症)	国内 Phase II 海外 Phase I	削除(開発中止)
クリアナール	気道分泌細胞正常化剤 (急性呼吸器疾患における去痰)	国内 Phase II	削除 (共同開発契約終了)
Y-39983	ROCK阻害剤 (緑内障)	記載なし	導出(国内) Phase I
MP-412	チロシンキナーゼ阻害剤 (悪性腫瘍)	記載なし	導出(海外) Phase I
TT-138	ベータ3作動剤 (頻尿/尿失禁)	記載なし	導出(海外) Phase I

＜参考＞ 新製品開発状況補足資料（平成19年11月1日現在）

1. 国内 新規化合物

TA-8317	フェンタニルを口腔内の粘膜から速やかに吸収させることにより、癌に伴う突発性の疼痛に対して鎮痛効果を示す頓用剤。欧米では既に市販されている。フェーズⅢ試験実施中。
MCC-847	ロイコトリエンD4受容体拮抗作用を有する経口呼吸器疾患治療剤。喘息のフェーズⅢ臨床試験、アレルギー性鼻炎のフェーズⅡ試験実施中。
APTA-2217	優れた抗炎症作用を有する、経口投与可能な呼吸器疾患治療剤。海外臨床試験で喘息とCOPD（慢性閉塞性肺疾患）の両方に対して有効性が認められている。喘息のフェーズⅡ／Ⅲ試験、COPDのフェーズⅡ／Ⅲ試験実施中。
FTY720	スフィンゴシン-1-リン酸受容体モジュレーターで、海外ではNovartis Pharma AGにより、多発性硬化症を対象にフェーズⅢ試験実施中。国内ではノバルティス ファーマ(株)と共同で多発性硬化症を対象にフェーズⅡ試験実施中。
MP-513	DPPIV酵素阻害により、食事摂取後のインスリン分泌を促進し、空腹時のインスリン分泌を促進しない、2型糖尿病治療剤。フェーズⅡ試験実施中。
MP-424	C型肝炎ウイルスのプロテアーゼNS3/4A阻害による経口投与可能なC型慢性肝疾患治療剤。フェーズⅠ試験実施中。
MP-214	ドパミンD3/D2受容体拮抗剤。ハンガリーGedeon Richter社より導入。フェーズⅠ試験実施中。
MP-435	補体成分C5a受容体拮抗作用を有する免疫調節剤。フェーズⅠ試験実施中。
TA-6666	DPPIV酵素阻害により、食事摂取後のインスリン分泌を促進し、空腹時のインスリン分泌を促進しない、2型糖尿病治療剤。フェーズⅠ試験実施中。
CNTO-148	抗TNF α モノクローナル抗体。フェーズⅠ試験実施中。
TA-7284	SGLT2選択的阻害剤。腎臓における糖再吸収を阻害して血糖値を低下させる。フェーズⅠ試験実施中。

<参考> 新製品開発状況補足資料（平成19年11月1日現在）

2. 国内 効能追加

ノイアート	(妊娠中毒症)申請中。
レミケード	(クローン病・維持治療) 緩解導入した活動期クローン病患者に対する緩解維持効果を確認するための効能追加試験を実施。申請中。 (関節リウマチ:用法・用量の変更)メトレキサートで効果不十分な関節リウマチ患者を対象に、レミケードの増量効果をj確認するためのフェーズⅢ試験を実施。2007年9月申請。 (潰瘍性大腸炎)欧米で実施された検証的試験で潰瘍性大腸炎にもレミケードが有用であることが確認され、欧米で承認済み。国内においても潰瘍性大腸炎患者を対象にフェーズⅢ試験を実施中。 (乾癬)欧米で実施された検証的試験で尋常性乾癬、乾癬性関節炎に対し、レミケードが有用であることが確認され、欧米で承認済み。国内においても乾癬患者を対象にフェーズⅢ試験を実施中。 (強直性脊椎炎)欧米で実施された検証的試験で強直性脊椎炎に対し、レミケードが有用であることが確認され、欧米で承認済み。国内においてもフェーズⅢ試験を実施中。
献血ヴェノグロブリン-ⅡH	(IgG 2欠乏症)申請中。 (多発性筋炎・皮膚筋炎〔希少疾病用医薬品指定〕)申請中。当局の指示により、ステロイド治療抵抗性の多発性筋炎・皮膚筋炎患者に対するヴェノグロブリンの有効性を確認するための追加臨床試験実施中。 (びまん型全身性強皮症)国内の臨床研究によって疾患の主要因である皮膚症状の改善に対してIVIGの有効性が見出され、海外においても有効性が報告されている。フェーズⅢ試験実施中。 (重症筋無力症)国内において血液浄化療法群を対照としたフェーズⅢ試験実施中。
ノバスタン	(ヘパリン起因性血小板減少症(HIT))医師主導治験の結果をもとに、2007年9月申請。
静注用ヘプスブリン-ⅡH	(肝移植後のHBV再感染予防)学会からの要望書に基づき申請中。
アンブラーグ	(脳梗塞再発予防)フェーズⅢ試験実施中。
ラジカット	(筋萎縮性側索硬化症〔希少疾病用医薬品指定〕)フェーズⅢ試験実施中。
バリキサ	(移植)移植後のサイトメガロウイルス感染患者を対象にフェーズⅢ試験実施中。
モディオダール	(閉塞性睡眠時無呼吸症候群)欧米では既に閉塞性睡眠時無呼吸症候群の治療薬として販売中。国内においてフェーズⅢ試験を開始。
メインテート	(慢性心不全)欧州で実施された大規模臨床試験(CIBISⅡ試験)でNYHAⅢ～Ⅳ度の慢性心不全患者の延命効果が高めることが明らかになった。国内では慢性心不全の効能追加のための臨床試験を実施し、2006年4月に申請した。その後当局との相談の結果、追加データ取得を目指して検討中。
コレバイン	(2型糖尿病)フェーズⅡ試験実施中。 (高リン血症)フェーズⅠ試験実施中。

＜参考＞ 新製品開発状況補足資料（平成19年11月1日現在）

3. 海外 新規化合物

MP-146	2006年11月にクレハ社から導入し、慢性腎臓病患者対象に欧州、北米、南米中心にフェーズIII試験実施中。
MCI-196 (Colestilan (INN))	欧米で腎透析患者における高リン血症の適応取得に向けた開発。
TA-6666	DPPIV酵素阻害により、食事摂取後のインスリン分泌を促進し、空腹時のインスリン分泌を促進しない、2型糖尿病治療剤。米国でフェーズII試験実施中。
TA-5538	選択的NK-1(サブスタンスP)受容体拮抗剤。欧州でフェーズII試験実施中。
MCC-135	急性心筋梗塞患者における虚血再灌流後の心筋細胞内Ca動態を改善することにより、心機能、及び予後の改善治療剤。欧米でフェーズII試験実施中。
MCC-257	神経栄養因子の分泌促進及び作用増強による糖尿病性神経障害治療薬。米国でフェーズII試験を実施中。
TA-5493	p38 MAP kinase阻害作用により、TNF α などの種々のサイトカイン産生を抑制し、抗炎症作用を示す。欧州でフェーズI実施中。
MCI-186 (エダラボン)	欧州でフェーズI試験実施中。
MP-513	DPPIV酵素阻害により、インスリン分泌を促進、グルカゴン分泌を抑制し、血糖コントロールを改善する2型糖尿病治療剤。 欧米でフェーズ I 試験実施中。
GB-1057	米国でフェーズ I 試験実施中。

4. 海外 効能追加

ノバスタン (アルガトロバン)	(脳血栓症急性期) 中国申請中。
	(ヘパリン起因性血小板減少症 (HIT)) ドイツ、オーストリア、スウェーデン、デンマーク、ノルウェー、オランダ、アイスランドの7カ国で正式承認取得。欧州の他国への申請も検討中。
	(HIT患者でのPCI) 欧州でフェーズIII試験を実施中。

<参考> 新製品開発状況補足資料（平成19年11月1日現在）

5. 海外 導出品

FTY720	スフィンゴシン1リン酸受容体に作用することにより、リンパ球をリンパ組織に留まらせる。導出先のNovartis Pharma A.G.が欧米を中心に多発性硬化症の患者を対象にフェーズⅢ試験を実施中。
MKC-242	セロトニン1A受容体の作動薬で、依存性が生じる可能性が低く即効性が期待される不安症やうつ病などの精神障害治療剤。米国メディシノバ社で全般性不安障害、不眠症のフェーズⅡ試験実施中。
MCI-225	ナルアドレナリン取込み阻害とセロトニン3受容体拮抗作用を持った薬剤で、現在ダイノジェン社が米国で下痢性過敏性腸症候群の患者を対象にフェーズⅡa試験実施中。
MKC-733	セロトニン3受容体作動作用を持つ消化管運動調節薬で、ダイノジェン社が、米国で便秘型過敏性腸症候群の患者でフェーズⅡa試験、夜間性胃食道逆流症を対象としたフェーズⅠ臨床薬理試験を実施中。
TA-1790	即効性で、副作用の少ない勃起障害治療剤として創製。米国でフェーズⅡ試験を実施中。韓国でチョンウェイ社がフェーズⅠ試験実施中。
TA-2005	喘息とCOPD（慢性閉塞性肺疾患）の治療薬で、選択的、早期作用性、長時間作用性β2刺激剤。欧州でフェーズⅡ試験を実施中。
T-0047	白血球が炎症部位に浸潤する過程を抑える細胞接着阻害剤。同じα4インテグリン受容体をターゲットとするモノクローナル抗体である多発性硬化症治療剤生物製剤「Tysabri（一般名natalizumab）」（バイオジェンアイデック社およびエラン社）の使用患者さんによる有害事象により、米国食品医薬品局（FDA）が予防的な手段として臨床試験を中断していたが、2006年にTysabriの販売再開が承認された。T-0047の臨床試験は欧州ほかにてフェーズⅡ試験を再開した。
T-0128	新規カンプトテシン誘導体（活性本体）に高分子輸送体を結合させたプロドラッグ。効率的に腫瘍組織に到達させるDDS技術を利用した抗癌剤。欧州でフェーズⅠ試験実施中。
TA-7284	SGLT2選択的阻害薬。腎臓における糖再吸収を阻害して血糖値を低下させる。欧州・米国でフェーズⅠ試験を実施中。
sTU-199	国内で開発していたTU-199の光学異性体で、仏ネグマ社へ導出。欧米で実施されたPI試験のPK/PDにおいて、長い血中濃度半減期より1日1回投与で夜間に於ける優れた胃酸コントロールが確認され、早期の症状改善や治癒が期待されている。子会社のシテム社が、欧州でフェーズⅠ試験実施中。
MCC-555	PPARγ作動薬で、インスリン抵抗性を改善し、末梢組織における糖利用を高め血糖値をコントロールすることで、2型糖尿病の治療を目指している薬剤。パーレジェン社は、対象患者における本剤の有効性や安全性をゲノム解析により評価し、個別化医療による2型糖尿病治療薬としての開発を目指す。米国でフェーズⅠ試験実施中。
Y-39983	血管平滑筋を弛緩させるROCK（Rho-キナーゼ）阻害作用をもつ薬剤。現在国内で千寿製薬がフェーズⅠ試験実施中。
MP-412	同クラスの抗癌剤の中でも、固形癌に対しより高い効果が期待される。米国において、Aveo社が患者によるフェーズⅠ試験を実施中で、用法用量の検討が進められている。
TT-138	β3受容体作動作用を持つ頻尿・尿失禁治療剤。米国でメディシノバ社がフェーズⅠ試験実施中。

<参考> 主要医療用医薬品の解説

ラジカット (2001年6月発売) 【薬効】フリーラジカルスカベンジャー (脳保護剤)

我が国で開発された世界初の脳保護剤 (フリーラジカルスカベンジャー) であり、脳梗塞急性期の患者における神経症候、日常生活動作障害、機能障害 (退院時の後遺症の程度) を改善する。脳梗塞の3つの主要病型 (ラクナ梗塞、アテローム血栓性脳梗塞、心原性脳塞栓症) いずれにも適応がある。発症後24時間以内に投与を開始し、投与期間は14日以内。

レミケード (2002年5月発売) 【薬効】抗ヒトTNF α モノクローナル抗体 (関節リウマチ、活動期クローン病、パーチェット病による難治性網膜ぶどう膜炎)

炎症性サイトカインであるTNF α をターゲットとした抗TNF α 抗体で、早く強力な効果と、1回の投与で2カ月間効果が持続するという点が特長である。関節リウマチでは、関節破壊を抑制することが確認されている。2007年1月にパーチェット病による難治性網膜ぶどう膜炎の効能を追加した。 オリジン: (米) セントコア社

アンプラーグ (1993年10月発売) 【薬効】5-HT₂ブロッカー (抗血小板剤)

ASOなど慢性動脈閉塞症に対する治療薬 (経口抗血小板薬) である。セロトニンにより増強される血小板凝集、血管収縮、血管平滑筋細胞増殖を抑制することにより慢性動脈閉塞症に伴う潰瘍、疼痛、冷感等の虚血性諸症状を改善する。とくに側副血行路の血流を改善する。2007年8月に高齢者にも服用しやすい小型化錠が承認された。

ウルソ (1962年7月発売) 【薬効】肝・胆・消化機能改善剤

本剤の主成分ウルソデオキシコール酸 (UDCA) は、古くから消化器症状の改善に用いられてきた熊胆 (クマノイ) が薬効の起源であり、ヒト生体内に存在する胆汁酸の一つである。本剤は肝細胞を保護する作用をもち、慢性肝疾患・C型慢性肝疾患における肝機能の改善、胆石の溶解等の効能をもつ。

ヘルベッサー (1974年2月発売) 【薬効】カルシウム拮抗剤 (狭心症・高血圧症治療剤)

世界110カ国以上で使用されている代表的なCa拮抗剤。血圧降下作用に加え、心拍数を抑えて心臓の負担を軽減し、冠血管拡張作用により酸素供給を増加させる。狭心症や高血圧症において心臓をやさしく保護する効果がある。

セレジスト (2000年9月発売) 【薬効】脊髄小脳変性症治療剤

脊髄小脳変性症による運動失調に対し、甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン (TRH) が有効であることは既に確認されていたが、これまでは注射剤のみであった。自社技術によりTRHを誘導体化し、経口投与を世界で初めて可能にした。

タナトリル (1993年12月発売) 【薬効】アンジオテンシン変換選択性阻害剤 (高血圧症治療剤)

確実な血圧降下作用および高い臓器保護作用を有しながら、この種の薬剤に一般的な副作用である空咳の発生頻度が少ない。2002年には日本で初めて1型糖尿病に伴う糖尿病性腎症への効能を追加した。

ヴェノグロブリン-IH (1992年1月発売) 【薬効】血漿分画製剤 (液状・静注用免疫グロブリン製剤)

国内の献血血液を原料として製造された人免疫グロブリン製剤。免疫グロブリンの持つ4つの作用 (オプソニン作用、毒素やウイルスの中和作用、免疫溶菌作用、抗体依存性細胞傷害) により、抗菌薬と併用することで重症感染症に対する効果を発揮する。

デパス (1984年3月発売) 【薬効】精神安定剤

国内で最も汎用される抗不安薬。強力な抗不安作用に筋緊張緩解作用、鎮静・催眠作用を併せ持つため、心身症、神経症だけでなく、腰痛症、頸椎症、筋収縮性頭痛、うつ病ならびに睡眠障害にも効果が認められている。

メインテート (1990年11月発売) 【薬効】選択的 β_1 遮断剤 (高血圧症・狭心症・不整脈治療剤)

世界85カ国以上で使用されている代表的な β_1 遮断剤。極めて高い β_1 選択性と良好な薬物動態を示し、高い有効性と安全性とともにエビデンスに基づいた心保護効果を有する。
オリジン: (独) メルク KG a A社

サアミオン (1988年6月発売) 【薬効】脳循環・代謝改善剤

脳循環・代謝改善作用を有する薬剤。脳梗塞後遺症の治療薬として処方されている。1998年に厚生省によって行われた再評価において、有用性が再確認されている。また、「脳卒中治療ガイドライン2004」において、脳梗塞慢性期の治療薬として推奨されている。
オリジン: (米) ファイザー社

<参考> 主要医療用医薬品の解説

リブル (1988年11月発売) 【薬効】プロスタグランジンE1製剤

世界初の静注用PGE1のDDS (ドラッグ・デリバリー・システム) 製剤。血管に直接作用し拡張させることにより慢性動脈閉塞症、糖尿病における皮膚潰瘍等の末梢循環障害を改善する。DDS化によりPGE1の治療上の有用性を最大に引き出し、投与時のデメリットを最小化することに成功した。

タリオン (2000年10月発売) 【薬効】アレルギー性疾患治療剤

抗ヒスタミンH₁作用の発現が早くみられ、アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患に伴うそう痒に即効性を発揮。一方で、眠気の発現頻度が低い。2007年3月に口腔内崩壊錠の剤形追加が承認され、7月に発売した。オリジン：宇部興産(株) 開発：共同

オメプラゾン (1991年4月発売) 【薬効】プロトンポンプインヒビター (消化性潰瘍、胃食道逆流症治療剤)

胃酸分泌の最終過程であるプロトンポンプの働きを阻害することにより、強力かつ持続的に胃酸分泌を抑制する。世界初のプロトンポンプインヒビターである。消化性潰瘍、十二指腸潰瘍、胃食道逆流症に優れた効果をもつ。さらに、2007年5月に非びらん性胃食道逆流症が、8月にヘリコバクターピロリの二次除菌療法に係る用法用量追加が承認された。オリジン：(英) アストラゼネカ社

ガストローム (1993年12月発売) 【薬効】胃炎・胃潰瘍治療剤

服用後ほとんど吸収されず、胃粘膜を直接覆って保護する薬剤。重大な副作用や他剤との相互作用がない。胃炎では単剤でH₂ブロッカーと同等の効果を示す。胃潰瘍ではH₂ブロッカーとの併用で治癒率を向上させるというエビデンスが、2007年4月に胃潰瘍診療ガイドラインに反映され、H₂ブロッカーとの併用剤として推奨された。

テオドール (1984年4月発売) キサンチン系気管支拡張剤

気管支拡張剤として気管支喘息、COPD (慢性閉塞性肺疾患) に広く用いられる。成分のテオフィリンには気管支拡張作用と抗炎症作用を含め多彩な薬理作用を発揮することが知られており、我が国の喘息治療ガイドラインにおいて使用が推奨されている。またその他の喘息治療薬と比べて薬価が安いことからコスト・ベネフィットに優れている。

ノイアート (1987年6月発売) 【薬効】血漿分画製剤 (血液凝固阻止剤)

国内の献血血液を原料とした人アンチトロンビンⅢ製剤。人アンチトロンビンⅢを高純度に含有するDIC治療剤である。トロンビンをはじめ幅広くセリンプロテアーゼ活性を阻害することにより強力な抗凝固作用を発揮する。

フルカリック (2003年1月発売) 【薬効】ビタミン添加高カロリー輸液

3室構造の輸液バッグを実現し、世界ではじめて糖・アミノ酸・電解質液に総合ビタミン剤を配合させた高カロリー輸液剤。ビタミン剤の入れ忘れの防止とともに、混注作業を不要とし、安全性と利便性を向上させた。開発：テルモ(株) との共同

ミールビック (2005年12月発売) 【薬効】麻しんおよび風しんの予防

麻しんと風しんの予防接種が同時に行え、接種者の負担が軽減できる乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン。麻しんおよび風しんの予防接種率の向上が期待される。製造：(財) 阪大微生物病研究会

株式の状況（旧田辺製薬）

1. 発行済株式数・自己株式数の状況（連結）

	当中間期末	前期末
期末発行済株式総数	267,597,847	267,597,847
期末自己株式数	22,693,811	22,666,769
期末発行済株式数	244,904,036	244,931,078
期中平均自己株式数	22,679,530	22,643,379
期中平均株式数	244,918,317	244,954,468

<参考>

10月1日現在 発行済株式数
561,417,916株
合併に伴い、三菱ウェルファーマ株主に対し、田辺製薬の普通株式316,320,069株を割り当てた。

2. 配当金推移

	H16/3期	H17/3期	H18/3期	H19/3期	H19/9中間	(注) H20/3期(見込)
1株当たり年間(中間)配当金	14円	17円	20円	24円	13円	26円
配当性向	20.3%	26.7%	32.0%	29.1%	32.0%	32.9%

(注) H20/3期の配当金は、上期田辺製薬(13円)、下期田辺三菱製薬(13円)を用いている。また、配当性向は下期田辺三菱製薬の当期純利益見込額からのれん償却費および合併関連費用を除いた利益と期末配当予定額から算出している。

<参考> 9月30日現在の株式の状況

①大株主の状況

順位	株主名	当中間期末		(順位)	前期末	
		持株数 千株	持株比率 %		持株数 千株	持株比率 %
1	日本マスタートラスト信託銀行	20,092	7.51	(2)	15,347	5.74
2	日本生命保険	15,875	5.93	(1)	15,875	5.93
3	日本トラスティ・サービス信託銀行	15,426	5.76	(4)	11,419	4.27
4	三菱東京UFJ銀行	12,089	4.52	(3)	12,089	4.52
5	ザチエースマンハッタンバンク エヌエイロンドンエスエルオム ニバスアカウント	9,800	3.66	(5)	8,504	3.18
6	ニプロ	8,030	3.00	(6)	8,030	3.00
7	東京海上日動火災保険	5,218	1.95	(9)	5,218	1.95
8	資産管理サービス信託銀行	4,611	1.72	(12)	3,836	1.43
9	メロンバンクエヌエーアズエー ジェントフォーイックライア ントメロンオムニバスユーエス ペンション	4,365	1.63	(10)	4,972	1.86
10	みずほコーポレート銀行	4,333	1.62	(11)	4,333	1.62
—	田辺製薬	22,679	8.48	(—)	22,652	8.47

②所有者別株式数分布状況

	当中間期末			前期末		
	株主数 名	株式数 千株	構成比 %	株主数 名	株式数 千株	構成比 %
金融機関	95	101,129	37.94	87	89,264	33.49
外国法人等	331	86,798	32.56	350	96,514	36.21
個人・その他	10,790	52,481	19.69	10,180	50,848	19.08
その他の法人	242	24,924	9.35	231	24,808	9.31
証券会社	43	1,227	0.46	41	5,093	1.91
合計	11,501	266,559	100.00	10,889	266,527	100.00
単元未満株式の状況		1,038		—	1,070	—

* 1単元の株式数は1,000株

(注)個人・その他には、自己株式(当中間期末22,679千株、前期末22,652千株)を含む。

③外国人持株比率

H14/3末	H15/3末	H16/3末	H17/3末	H18/3末	H19/3末	H19/9末
19.89%	19.82%	22.26%	30.14%	31.18%	36.21%	32.56%

その他関連データ

1. 従業員数（就業人員数）推移

（単位：人）

	H16/3末	H17/3末	H18/3末	H19/3末	H19/9末	H20/3末 見通し
田 辺 製 薬	4,540	4,517	4,512	4,554	4,541	—
（単 独）	(3,247)	(3,194)	(2,993)	(3,033)	(3,068)	(—)
三菱ウェルファーマ	6,122	5,917	5,902	5,907	6,075	—
（単 独）	(4,175)	(3,546)	(3,575)	(3,488)	(3,426)	(—)
田 辺 三 菱 製 薬	—	—	—	—	—	10,478
（単 独）	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	6,304

2. 平成19年4月以降のトピックス

①田辺製薬

平成19年 4月1日	連結子会社を再編（田辺総合サービス株式会社、田辺製薬エンジニアリング株式会社およびエースアート株式会社の3社を合併、田辺製薬商事株式会社の特納品事業を当社ヘルスケア事業部に事業譲渡）
7月18日	アレルギー性疾患治療剤「タリオン®OD錠」を新発売
7月19日	とろ〜りタイプの点眼薬「アスパラ®目薬モイストCL」を新発売
8月6日	早期退職優遇制度を実施
8月24日	早期退職者の募集終了、61名が応募
9月25日	アレルギー性疾患治療剤「タリオン®」の活性成分、ベシル酸ベボタスチン（一般名）の北米地域における経鼻用途での独占的開発・製造・販売権をイスタ・ファーマシューティカルズ（米国）に供与

②三菱ウェルファーマ

平成19年 5月24日	プロトポンプ阻害薬「オメプラゾン錠10mg」に関し、非びらん性胃食道逆流症の効能・効果について追加承認を取得
6月21日	昨年8月に米国に設立した投資会社「MPヘルスケア ベンチャー マネジメントインク」に対し、株式会社三菱ケミカルホールディングスと当社は、本年8月までに両社各々35百万USD、両社合計で70百万USDを増資し、資本金を100百万USDとすることを決定
7月31日	連結子会社「株式会社エーピーアイコーポレーション」の久寿工場（三重県四日市市）で製造するフェノール系酸化防止剤BHT（化学名：2,6-di-tertiary-butyl-p-cresol）に係わる事業を、平成21年1月1日をもって本州化学工業株式会社に譲渡し、同工場で製造しているその他の製品については製造を停止、平成21年3月末を目処に同工場を閉鎖することを決定
8月6日	早期退職優遇制度を実施
8月24日	プロトポンプ阻害薬「オメプラゾン」に関し、アモキシシリン（一般名）およびメロニダゾール（一般名）との併用による胃・十二指腸潰瘍におけるヘリコバクター・ピロリの二次除菌療法に係る用法・用量の追加承認を取得
8月24日	早期退職者の募集終了、57名が応募
9月5日	旧ミドリ十字がHIV事件の惹起を防止できなかった原因について「HIV事件に関する調査委員会」がまとめた「HIV事件に関する最終報告書」および会社としての改善策を公表
9月26日	選択的抗トロンピン剤「ノバスタン®HI注10mg/2mL」（一般名：アルガトロバン）について、「ヘパリン起因性血小板減少症（HIT）における血栓症の予防及び治療」に係る承認事項一部変更承認を申請

3. 合併関連のトピックス

平成19年 2月2日	田辺製薬と三菱ウェルファーマとの合併について、両社取締役会において決議、合併に関する「基本合意書」を締結
4月27日	田辺製薬株と三菱ウェルファーマとの合併について最終的に合意、両社取締役会において決議のうえ、「合併契約書」を締結
5月10日	主要組織、役員および執行役員人事を発表
5月16日	企業理念、目指す姿、シンボルマーク、経営目標、事業戦略等を発表
6月14日	組織および人事を発表
6月22日	（三菱ウェルファーマ）田辺製薬との合併契約の株主総会決議を取得（100%株主である株式会社三菱ケミカルホールディングスの書面による同意）
6月26日	田辺製薬 第103回定時株主総会において、三菱ウェルファーマとの合併契約を承認
8月23日	プレサイトを開設
10月1日	田辺製薬と三菱ウェルファーマとの合併により、田辺三菱製薬が誕生

本資料に関するお問合せ

広報部 IR グループ

TEL 06-6205-5211 FAX 06-6205-5105